

平成三十年一月一日発行（毎月一回一日）
書象 第六十六卷 第一号 通巻七四六号

書
系

新年おめでとうございます

—編集部一同—



日本書道芸術協会

2018-

1

卷頭言

書象誌の学びから展覧会出品へ

理事長 市澤 静山

新年おめでとうございます。この一年が書象会にとって充実・発展の年でありますよう願っています。

書象誌は今年の五月号で七五〇号となります。創刊は昭和三十年十二月でした。この時が書象会の誕生の時です。書象誌会員は急速に増加しました。会員は書象誌を手本として真剣に学びました。そして昭和三十七年に書象展第一回展が世間に向けて発表するに至ったのでした。

上條信山先生は書象誌に将来を見据えた素晴らしい構想で課題を決められました。臨書学習に重きを置き、楷書は歐陽詢の書、行書は王羲之の書、それに張猛龍碑を加えられた。創作の基幹となるものを信山書法に定め、基本課題とされました。この方針は今も変わっておりません。

私の書象誌学習の始まりは高一の時、書象誌十七号からでした。月々新たに出される課題を夢中になって練習したものでした。私のみならず、現在の幹部の先生方も書象誌の手本に魅了されて学ばれたことに違いありません。

会員の皆様は書象誌をもとに、毎月欠かすことなく勉強されています。休まず出品してくださることはありがたいことです。

隨意条幅課題は昨年から種類を多くしました。ひらがな調和体、カタカナ調和体、古典臨書など、この教材で条幅作品の研究を深めて、書象展や謙慎展出品へ歩を進めてほしいと願っています。

書象会は今年も例年通りの行事を予定しています。昨年の反省に基づき、工夫を加えての開催となります。新年会、講習会、合宿鍊成会、書象展、中央展出品など、参加しましょう。参加することにより、幹部の先生方や他支部の方々との交流の輪が拡がり、親睦が深まります。多くの指導を受け、よい刺激も受けることでしょう。参加者は自身の実力向上を実感できることになります。会員皆様の活躍が書象会の力となることでしょう。

皆様の今年一年のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。





一心藏万象

1月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付



出品券を貼付
1月20日必着



沈：余白のバランス



識：部分の大きさ



- 弱：点画の方向、角度
配列に注意する。
- 文字の大小、および
配列を意識する。

- 縦画、横画の角度や
間隔、偏と旁の組み
合せを意識する。

・文字の中心に注意し、
引き締まつた線で書く。
・縦画は垂直、横画は
右上がりで平行にする。

秀：二画目は中心に對
する長さのバラン
スに注意。

宗：「宀」の下の空間
が狭くならないよ
うに美しくまとめ
る。



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

行の流れは左図参照。

一行目と後半二行の
行草書の漢字を伸び
やかに書くことがボ
イントとなります。
それぞれが完璧に書
けるよう練習した
い。

「春の夜」

春の夜

「浮橋」

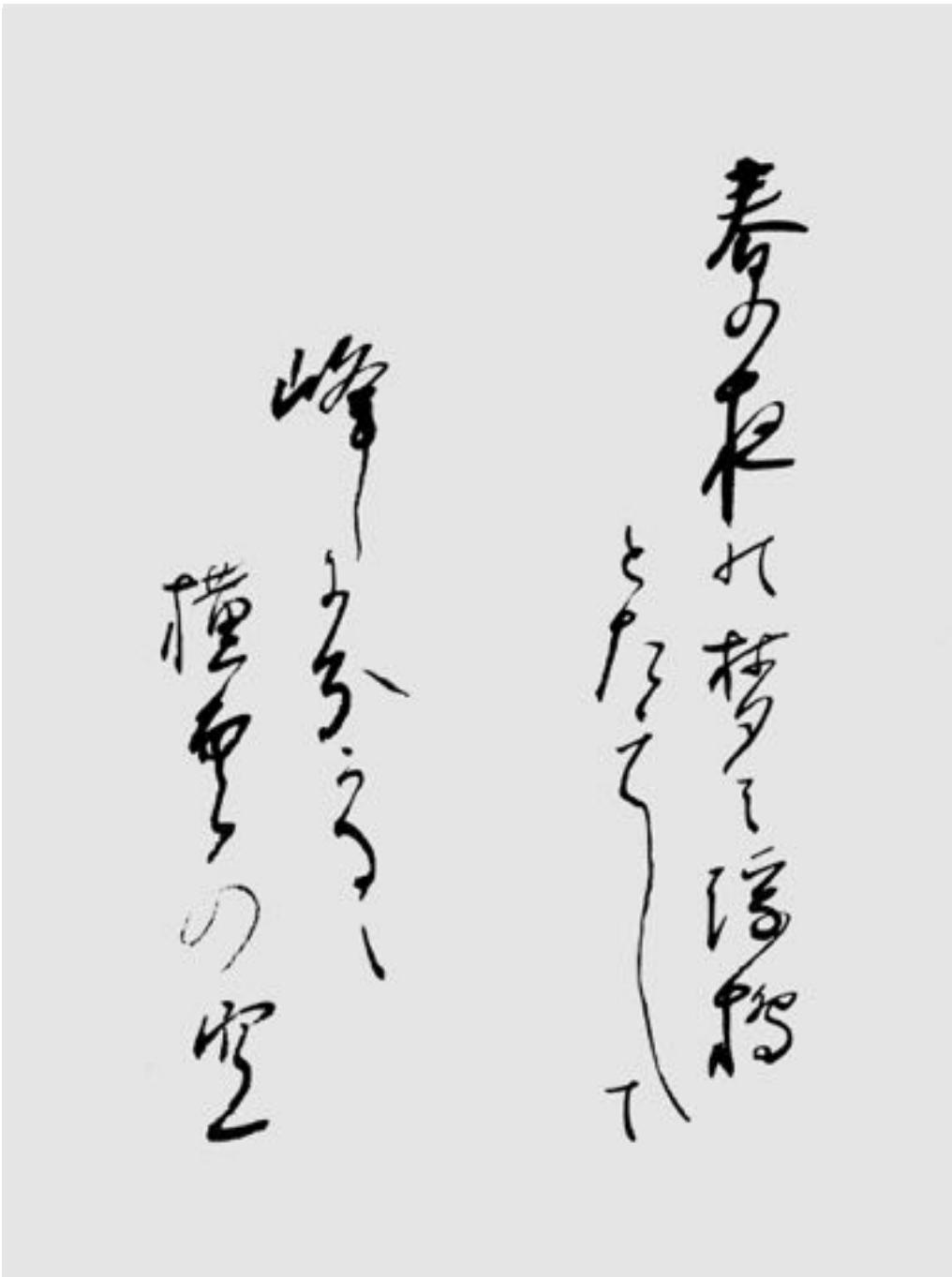
浮橋

「峰に（尔）分」

峰に（尔）分

「横雲」

横雲

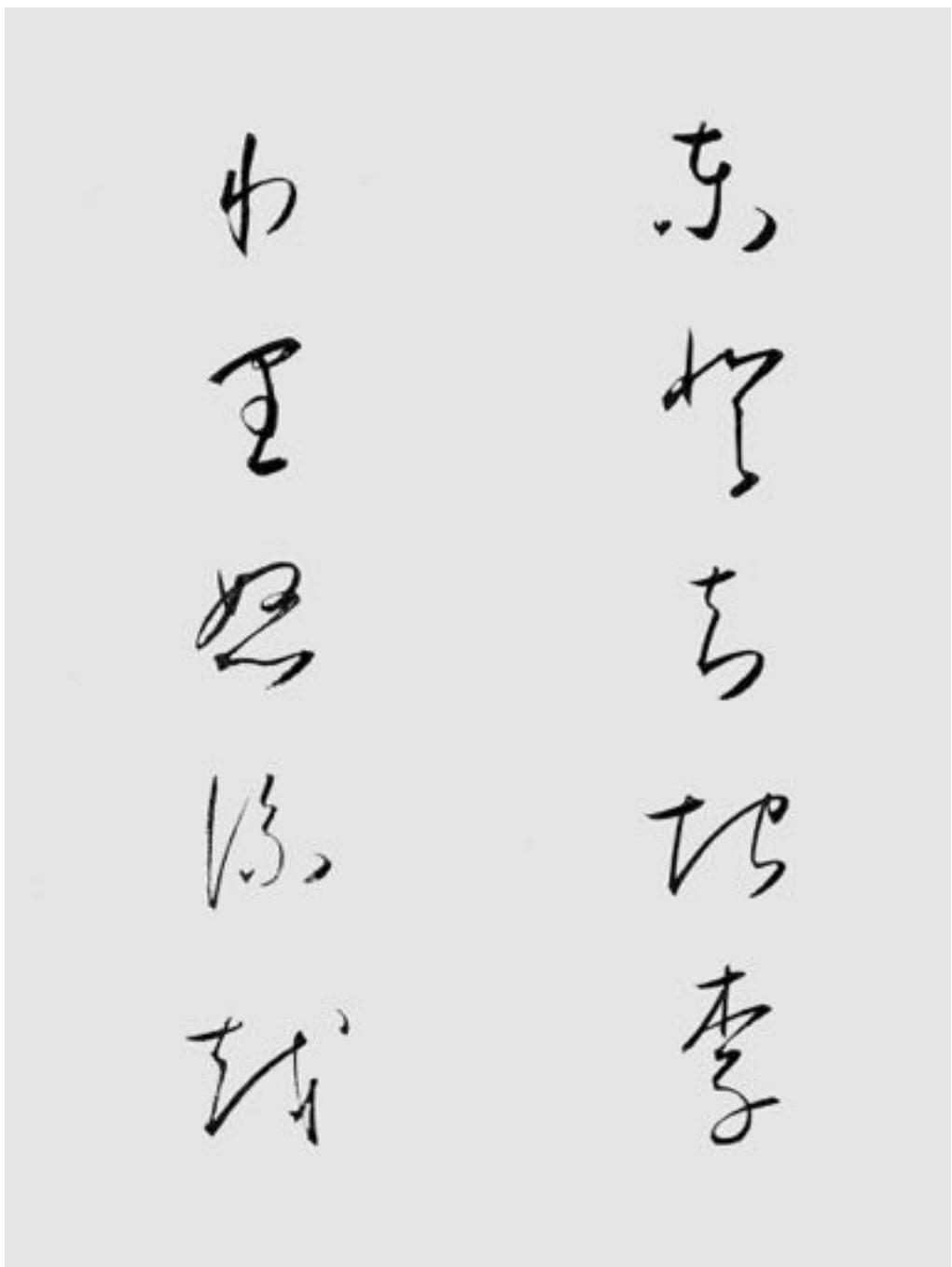


春の夜の（能）夢の（之）浮橋とだえして
峰に（尔）分か（可）るる横雲の空
(藤原定家)

1月20日必着
出品券を貼付

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書



機械的練習でリズムをつくると、筆が軽快に動き始めます。

「東」：形に気を配り、余白に留意する。

「登」：頭部を右への広がりを見せながら、大きめにつくる。

「地」：偏と旁との空間を広めにとる。

「利」：縦画は長め、旁部は小さくまわす。

「里」：第一画を強めに大きく書き、最終画は短くおさめる。

「越」：左下からの突き上げをゆったりと大きくつくる。

— 7 —

研究【研究】 「張猛龍碑」 臨書

積文 級を紫〔口〕に（浣い）、華を烟月に承く。



光明（集字）

虎井暁鐘先生書



内藤望山先生書



今月のポイント 逆筆を強く当てる。腕を大きく動かし、伸びやかに書く。
※どちらか一体を出品してください。

1月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

和 氣 佳 新 年

玄山

和氣新年を作^なす

- ・水平、平行、等分割の基本原則を守る。
- ・肉太の線で大胆な筆さばきをする。

条幅隨意【条隨】

上條信山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

天へとまことにあらへ
やうやくやうやく

ほ（本）の（能）ばのと春こそ（所）空に（二）き（支）に（一）け（介）らし
天の（能）か（可）く山霞た（多）な（奈）び（日）く
(後鳥羽院)

- ・上下の流れを意識して、リズム良く書く。
- ・行頭、行末の処理と行間の変化に注意。
- ・「春」「空」「霞」はP.14参照。

中学一年規定【學毛】

柳澤玄嶽先生書

吉
新
年
好

中学二・三年規定【學毛】

内藤望山先生書

木城
深
春
草

大光也

也者

小学五年規定【學毛】

露崎玄峯先生書

平世

和平

小学六年規定【學毛】

荻田光山先生書

小学三年規定 【学毛】

樋口玄山先生書

心經

小学四年規定 【学毛】

竹内墨洋先生書

心經

小学一年規定 【学毛】

小潤石峯先生書

九十九

小学二年規定 【学毛】

小室墨汀先生書

硬筆規定

一般規定【二硬】(師範・準師範・段位)

上條信山先生書

富者の虚榮による多くの寄進よりも(毛)たとえ僅か(可)でも(毛)貧者のまごころの(能)こもつ僅た寄進の方があま(万)さつてある。

たゞ(僅)えり 寄進の方があま(万)さつてある。
寄進の方があま(万)さつてある。

一般規定【一硬】(級位)

藤岡月華先生書

小諸たち古城のほとり 雲面白く遊子が

なーも緑なすはこべはもえず 着

草もしくによくなし 藤村詩

中学規定【学硬】

虎井暁鐘先生書

元旦の朝、近くの神社に初詣でに行つた。帰り道とても清々しい

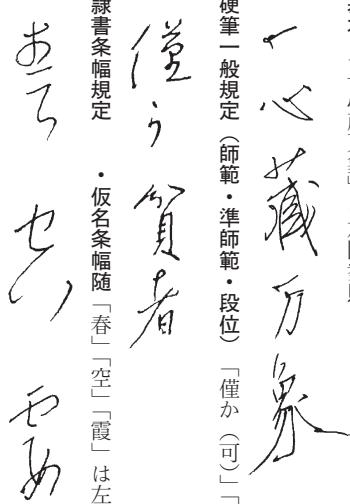
気持ちになりました。氏名

「城」は偏の右端を揃え、それを長くする。「春」は横画の角度、間隔を揃える。「草」の最終画は止めてもよい。「木」は左右の払いの角度、方向に注意。「深」は偏を縦長に、旁をのびやかに書きたい。



中学二・三年

学生部規定



手本解説

・基本 「一心藏万象」は左図参照。

・硬筆一般規定 (師範・準師範・段位) 「僅か(可)」「貧者」は左図参照。

・隸書条幅規定 ・仮名条幅隨「春」「空」「霞」は左図参照。

小 一・ 二年 学	犬
中 学	雪
中 学	年始
中 学	初夢

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

小・中学生随意課題【学隨】

新的に「新」の五画目は左に長く。旁はやや細い位置に。書く。「年」は五画目を最も大目に。目を長く。「び」の回りの線は曲線。



中学一年

お姉さんはクラブ活動の時
でも習字を続け特待生に
受けました。

名前

支部 年 級段

春の七草を入れてたい
たおかゆを、家族そろつ
て食べました。

名前

支部 年 級段

小学一・二年規定【学硬】

に	し	犬
走	が	の
つ	ふ	ア
た	く	ル
。	さ	と
なまえ	む	木
支部	い	が
年	日	ら
きゅう うん		

久保妍山先生書

一般(師範・準師範・段位)・一般(級位)・中学生はペン使用のこと(中学生は鉛筆も可)。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大ささ→たて18cmよこ7cm 小一・二課題→2.1cm巾のマス目。紙を使用する。小三・四・五・六課題→2.1cm巾の罫線を引く。

横び概形「あ」をのは「ぞ」の二画目は中心から書き始めると最後は大幅に「ら」は筆脈を意識する。



小学二年

「昔」は四画目を長くしてバランスを取る。縦画は垂直に。「お」は回りの角度に注意する。「び」は右上がりに書き始めると最後は中を寄せせる。「遊」は左回りの角度に注意する。「遊」は中をと寄せる。



小学四年

「平世和界」は最も左終右始の組合せである。左の縦画の長さ、角度を意識する。右の縦画の長さ、角度を意識する。右の縦画の長さ、角度を意識する。右の縦画の長さ、角度を意識する。



小学六年

横くの「こ」は筆脈を意識する。三画目は中でまとめる。最後は長線で向かって書く。



小学一年

「紙」は下部を揃え、払いの交差する位置か。大振りの「紙」の糸偏は右端を削り、縦長を意識する。



小学三年

「光」の五画目は斜めの始筆は横線的に浅く接する。「大」の下部を左の斜めの始筆は直線的に浅く接する。「地」の下部を右の斜めの始筆は直線的に浅く接する。



小学五年

雁塔聖教序

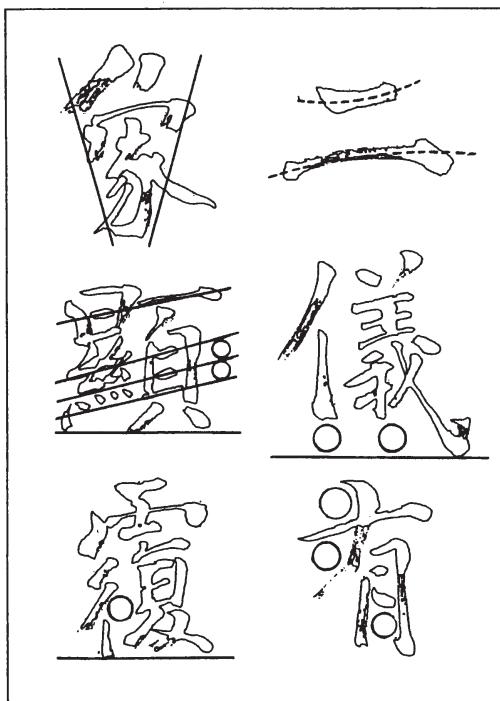
唐六五三年

褚遂良（五九六～六五八年）

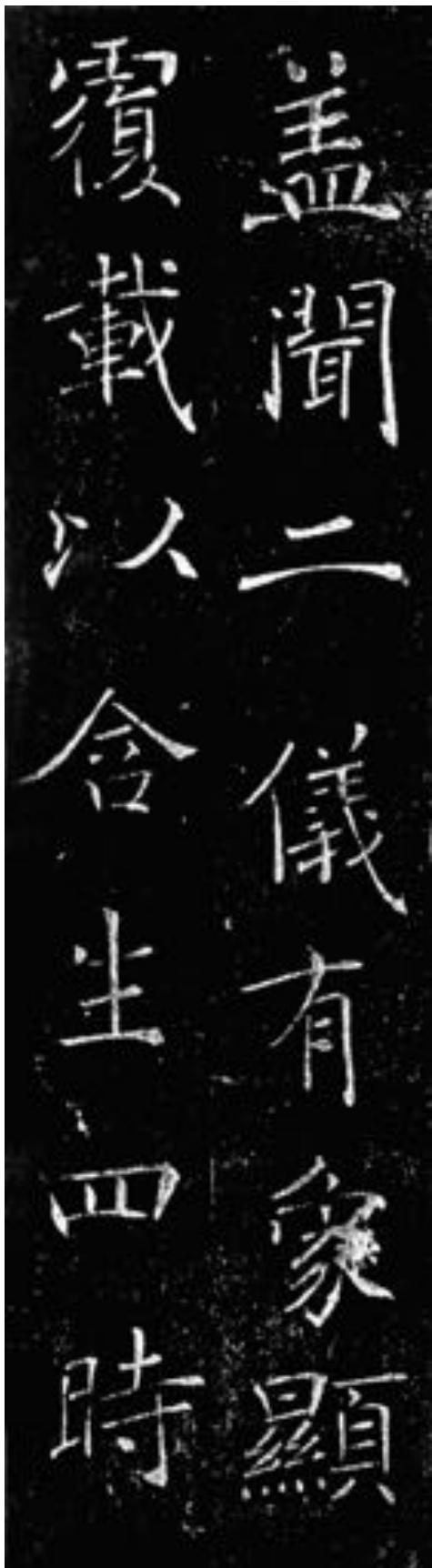
書き方

- ① 文字数を間違えないで出品して下さい。
- ② 続き文字でなくとも構いません。
- ③ 落款を入れて下さい。
- ④ 作品の表左下に、支部名と氏名又は号を鉛筆で記入して下さい。
古典研究の出品券を貼付して下さい。

（編集部）



技法 点画の多い文字は線をやや細目にする。横画よりも縦画が太いので安定感があり、点画をわざと離して空間を明るくみせている。上記の図版および技法は「書法基本帖」より抜粋した。図版はあくまでも参考である。



〈釋文〉蓋聞二儀有象。顯覆載以含生。四時

—信山先生の自伝—

「硯上の塵」を読む60

張廉卿宮島詠士師弟展の開会式は盛大なもので、会期中の入場者数は二万人を超える、そのため数日の会期延長となりました。さて、展覧会の会期中、上條先生にとってさらに素晴らしい構想が持ち上がるところになるのです。

張裕釗宮島大八師生紀念碑

張廉卿宮島詠士師弟展開幕式典のあつた午後、故宮博物院内の麗景閣において、張裕釗、宮島詠士師生の書法藝術をテーマとした中日合同のシンポジウムが行われた。麗景閣とはかつて西太后が愛用したという一室で、故宮にしては珍しく洋風のシャンデリアが備わった広く美しい部屋であった。中国側は啓功、歐陽中石の両氏、日本側は私のほか、京都教育大学教授杉村邦彦氏と魚住鶴山君が発表した。

啓功先生は北京師範大学の教授で、現代中国最高峰の学者であり、

中国書法家協会副主席から主席に転ぜられたところであった。啓功先生とは前年の教育団の訪中で、北京の國際俱楽部において、書道教育の将来について中日両国の代表者として発表しあつた間柄であり、学問の議論と書法教育を通じて互いに親しみをましていた上に、とくに啓功先生が張裕釗、宮島詠士師弟に交わされた情誼の意義を重視して下さったことから、互いに意氣投合し、特別の信頼を感じるようになつていつた。

展覧会期間中に、私は宮島家の方々および門下の幹部とともに再び保定を訪れ、展覧会の成功を報告し、作品図録をひとまとめお届けし

た。外事弁公室主任は国亞平氏に替わっていたが、曹氏から内容的な引き継ぎがよくできており、保定市は人民政府をあげてこのことを喜び、この佳話を中日友好の懸橋にしたいとまでおっしゃって下さった。そして私たちに対する歓迎の席上で、ふとしたことから張廉卿、宮島詠士両先生の師弟間における情誼を讃えた碑を、中日の協力によつて古蓮花池に建立しようということが話題に上つた。

すばらしい構想には違いないが、あくまで宴会の席上の話である。帰国したのち、保定市がその後のことなどをどこまで考えて下さっているのか使者を出して問い合わせた。すると保定市はあくまでも実現に向けて真剣に考えていること、さらには碑の書丹者は私以外にはありえないと判断して下さっているとの御返事をいただいた。その上内容までをも私に一任することであった。碑はあくまでも長く歴史に留めるために作るもの。私は書丹させていただくことの名誉はありがたくお受けするとして、撰文は是非とも中国における最高の友人である啓功先生にお願いすべく意を固めた。



盛況の会場風景

私の希望に対して、啓功先生は快く応じて下さった。そして早速に次の碑文稿をお送り下さった。長文であるのに加えて、銘文を備えた、典範に則った正式なものであつた。私は啓功先生に心から感謝するとともに、それにふさわしい充実した書を仕上げなくてはならない決意を新たにした。

改組新第4回 日展

◆会期 (東京展) 平成29年11月3日(金)~12月10日(日)

◆会場 国立新美術館 (六本木)

以長補短

会員 市澤静山



高青邱詩「山月」

会員 内藤望山



李太白句

山口啓山



高青邱詩

小澠石峯



腾虎

大島皎山



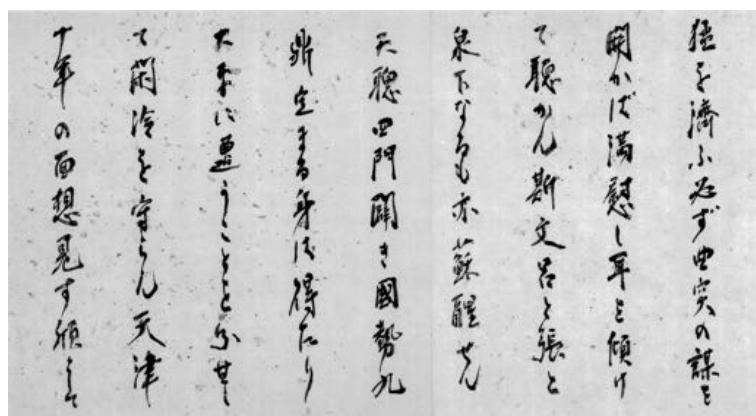
柳澤玄嶽



竹内墨洋



露崎玄峯



田中翠花(卷子本・部分)

誰聞人作兔
不見鶴成仙
念此那堪說

烟中高山(帖・部分)

寒山詩



薩天錫句



藤森大節

雨打窗竹簾書潤風
舊瓶花筆硯香
大首

高青邱詩五首

林田翠山

一臥孤松下，萬古歷千朝。
萬物皆有裂隙，零落少復全。
唯其不圓，故能久固。自非外力擊打，
不能使之傾倒。萬物皆有罅隙，而能自保全。
夫物生莫不有氣，氣完則全。蓋氣者，萬物之母也。
人知其然，而不知所以然，故以爲自然。

日展新入選 よろこびの声

信山バリの追求



この度団らざも日展入選の栄を賜り驚きと感謝の念に堪えません。これも偏に、長年に亘り厳しくも温かくご指導いただいた中村巍山先生をはじめ、田中節山会長、市澤静山理事長、諸先生、諸先輩方のお導きの賜と深く感謝申し上げます。

信山バリに魅了され、中村先生に入門をお許しいただき、お稽古初日に目の前で、「君が書きたいのは、コレだろ?」と、信山バリを書いていただいたときのことを今でも鮮明に覚えています。

これからも、牛歩の如くではあります、一步一歩着実に歩みを進め、信山バリを追求して参りたいと思います。益々のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

生涯の目標



田中 翠花

この度は、思いがけず日展初入選の栄を賜りましたこと、田中先生はじめ、日頃御指導頂いて居ります市澤先生、また本部の諸先生方の温かい励ましのお陰と心より感謝申し上げます。

書象との出会いは昭和三十九年、東京オリンピックの年でした。それから十年間、吉祥寺や松本の練成会にも参加して居ましたが、やむなく筆を置き三十三年が経ってしまいました。夫の死をきっかけに書道界に復帰。「人の二倍努力すること」を自分に言い聞かせて勉強して参りました。諸々立てた目標の中で、日展は一番高い所がありました。今回の幸運は“書道の神様”が十年間頑張ったご褒美を下さっただけと思い、驕ることなく、気を引き締めて一から精進致します。

ありがとうございました。

林田 翠山

改組新 第4回日展巡回日程（予定）

開催地	会期	会場	開催者
東京	平成29年11月3日～12月10日	国立新美術館	公益社団法人日展
京都	平成29年12月17日～平成30年1月12日	京都市美術館別館 京都市勧業館みやこめっせ	日展京都展実行委員会
大阪	平成30年2月24日～3月25日	大阪市立美術館	日展大阪展実行委員会
大分	平成30年4月5日～5月6日	大分県立美術館	大分県立美術館 大分県芸術文化スポーツ振興財団
金沢	平成30年5月26日～6月17日	石川県立美術館	北國新聞社

(注)会期は変更することがあります。

第五十回一照会書道展

期日 十月二十七日～二十九日
会場 西舞鶴駅交流センターホール
主宰 多田照楓先生

市の木である櫻が色づいたこの時期、第五十回の一照展を開催した。初日は秋晴れの一日でしたが、以後は台風が近づいて雨模様であった。

第一回は多田医院の廊下を利用した展示であったと聞く。

会場は、ご指導をいただいている魚住卿山先生や主宰者の作品を展示。会員の隸書、楷書、行書、それに仮名作品を含めて三十八点の作品を展示了。そのほか信山先生の張廉卿千字文の臨書作品、十四回の川崎一照先生の追悼展から毎年作成してきた作品集、十年ごとの展示会場の記念写真、着物に仮名作品を染めた旧作や四十回展で会員全員が百人一首を書作し貼り付けた六曲屏風なども展示了。

会員は高齢の者が多いが、書作を楽しむということは会員全員が持っています。このエネルギーを継続できますよう本部の諸先生方、魚住先生、特に多田先生には御健康に留意して、我々のご指導ご鞭撻を今後ともよろしくお願ひします。

(中邑弦照記)



魚住先生、多田先生を囲んで



作品の前の多田先生

(毎日新聞10月28日号にこの写真と紹介文が掲載されました)

木曜会 古典臨書作品

木曜会は通常は古典研究の発表の場です。大きな展覧会出品時は作品研究です。作品づくりに古典研究なくては深化はありません。その研究成果をご覧下さい。

祭姪文稿 (唐 順真卿)

柳澤玄嶽

穀城因通父臨子元業之碑
覆天不憚福誰為榮萎

この臨書作品の魅力は、原典に拘わらずに、文字の大小の変化を工夫していることであり、そして躍动感に溢れ、深く紙面に浸透した重厚な線質で書かれている点である。この沈潜する線が創作にも定着することを期待する。(解説 二瓶嶽風)

温泉銘 (唐 太宗)

寺尾碩雲

朕以重華稽顚薰夙夜
履嬰每濯足於斯源

唐太宗皇帝の温泉銘は線は大きく動き、構造は懐が広く氣宇雄大な古典である。この臨書作品はその特色を良く捉えていて秀作である。特にリズム感よく紙面を切る強い線に魅力がある。

(解説 市澤静山)

書譜 (唐 孫過庭)

蕪木珠紅

四海之音或存變若殊
祕之旨未可比於此

中央書展では掲石からの造形と線表現で作品発表している筆者が、研究会では対称的な書譜の臨書に挑まれていて興味深い。北魏書法が礎になっているから艶麗な中にも線は強く強い。脈絡、構造性、空間臨書に至るまで注意深く捉えられている。

(解説 内藤聖山)

謙慎の書④ 上條信山の門流

書象会選抜展（そのI）

謙順

田中節山

衄挫

会期
10月7日（土）～平成30年1月14日（日）
奈良市杉岡華邨書道美術館



月光



杜少陵詩「帰鴈」



酒を勧む

中村巍山

王門下至多愛りテリレ
朝夕猶題天水草木上
君之光一夕年余矣
才子不復能文也

寒芳

微风何清、宿雨随人燕遙空石梁前
楊柳垂重因明空寂無奇獨行向
遠微泉芳自耳殊奇賞意不遑從
情望林間坦步探尋歸

丘壑心

虎井曉鐘



立秋

徐修

二瓶嶽風

博君不乃意況
漫柳條春力空
莫金盡還宣白
蟹新五湖三詎
完万里一歸人
声称不能薦蓋
稱獻納佳玉湖

千

万里况漫五

湖西泣浦當陽

郭人家春穀熟

從歸江鳥未

到草萬憶東

蘭陵鎮可宜猿

夜啼

錄三李五律詩
二首丁酉秋日

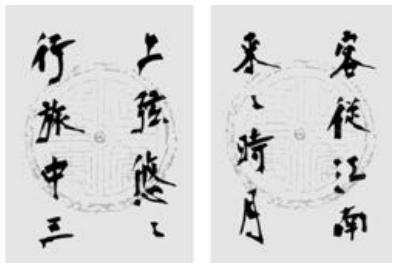
王維詩

魚住卿山



客中月 行旅中三
見清光円 晚隨殘月

白居易詩 客中月



客中月 行旅中三
見清光円 晚隨殘月

烟中高山 (部分)

正師範紹介

すべてに感謝



若竹支部

日下部 耕山

この度は正師範のお許しを頂き、本当に有難うございます。これも虎井暁鐘先生の懇切丁寧なご指導と励ましのお蔭と心より感謝申上げます。また、二十年前に書道会入会を勧めくださいました故加藤松峰先生、社中展等で共に学ぶ若竹会及び玄黒会の書友の皆様、一緒に頑張って月例出品している息子達、そして、家内の心遣いにも「感謝」しか思いつく言葉はありません。「書一生の稽古なり」の言を忘れず、このお許しを機に初心に立ち返り精進してまいりますので、今後とも引き続き、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

目標達成



紅竹支部

小林 穂奈美

この度は正師範の認定を頂きました、誠にありがとうございました。私が書道を始めたのは小学五年生の時、母の勧めでした。書道を始めてから十八年間、人生の半分以上を書道と共にし、二十八歳までに正師範になることを目標にここまで続けてきました。ご指導頂きましました宮原先生には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。次の目標は、展覧会などに挑戦したり、いずれは先生のように自分の教室を持つことです!これからも、自分のペースで楽しく書道を続けていきたいと思います。

感謝



芙蓉第五支部

平野 清公

この度は、正師範の認定を頂き、本当にありがとうございました。学生の頃から練習を続け、ここまで来れたこと、大変嬉しく思います。これも先生方の丁寧なご指導、ご協力のおかげであります。今年は学生から、社会人として働くようになり、新たな生活が始まる年でもあります。仕事等で忙しくなり、練習に使える時間が少なくなってしまうと思いつますが、限られた時間を有効に使い、初心を忘ることなく、精進していきたいと思います。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

とうとうなった!



静支部 中二

鈴木そら



竹華支部 中三

佐藤李南

六年間習字を習い続け、やっと自分の目標であった特待生になることができて本当に嬉しいです!ここまで指導して下さった先生には感謝してもらひきれません!先生の期待に応えられるようさらに上を目指して努力します。

支部長先生より一言 熱心に学ぶ姿は教室の模範でした。才能もあり師範を目指してこれからも変わぬ努力を続けて下さい。

今回、特待生になることができて、驚きと嬉しさでいっぱいです。小学一年生の頃から書道を習っていますが、特待生になることができたのは、先生の丁寧なご指導があつたからです。ありがとうございます。支部長先生より一言 毎月の課題の仕上げは、いつも素晴らしい出来上りでした。進歩向上は極めて速く、今後も期待できる。

さうに向こうへ!



感謝

霞墨支部 中二

西岡季紗

小学校二年生から書道を始め、念願の特待生になることができました。ここまでやつてくることができたのは、指導してくださった先生方のおかげです。これからも先生方に感謝し、がんばりたいと思います。

支部長先生より一言 集中する時は、すごい力を發揮します。頑張った結果ですね。これからも期待しています。おめでとう。



珠悠支部 中三

水口彩美



感謝

霞墨支部 中二

西岡季紗

私は、小学一年生から習字を始め、特待生になることを目標に頑張って来ました。今回、その特待生になることができて、とてもうれしいです。先生、長い間ありがとうございました。

支部長先生より一言 君の書く字は皆の憧れとなりました。今年は君の書く字は皆の憧れとなりました。学業にも良く励み知識も豊富。今後も期待しています。



皓花支部 中三

荒木那緒



感謝

西岡季紗

私は、小学一年生から習字を始め、特待生になることを目標に頑張って来ました。今回、その特待生になることができて、とてもうれしいです。先生、長い間ありがとうございました。

支部長先生より一言 那緒ちゃん、合格おめでとう。静かに書き込む姿が目に浮かびます。何事もその調子で頑張って下さい。

特待生になつて



珠悠支部 中三

水口彩美



感謝

霞墨支部 中二

西岡季紗

私は、小学一年生から習字を始め、特待生になることを目標に頑張って来ました。今回、その特待生になることができて、とてもうれしいです。先生、長い間ありがとうございました。

支部長先生より一言 那緒ちゃん、合格おめでとう。静かに書き込む姿が目に浮かびます。何事もその調子で頑張って下さい。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

少し遅くはじめたけれど…

珠紅支部 中三



松村朝日

友人達よりも少し遅く、小学四年生の時に書道を習い始めました。そして中学の吹奏楽部も忙しかったので半分あきらめていたのですが、特待生になれて本当に嬉しいです。先生六年間ご指導ありがとうございました。

支部長先生より一言 集中力抜群、書道が大好きな朝日さんは時間があれば何時間でもがんばります。これからが楽しみです。

これからもがんばります

御代田支部 中二



桜井杏

私は、小学校一年生から習字をはじめました。先生はポイントなど、詳しく教えてくださり、そのおかげで、特待生になれましたと思います。また習字を習わせてくれた両親のおかげであります。これからもがんばりたいです。

支部長先生より一言 ここ一、二年間で素晴らしい力をつけました。おめでとう。両親への感謝の気持ちも忘れずに。

続けること

霜田果凜



特待生

若竹支部 中二



特待生になつて

ひまわり支部 中三



百瀬まゆ

私は小学校二年から書道を習い始め、六年生が経ちました。毎週土曜日に教室に行って、コツコツと練習を続け、今回、硬筆の特待生になることが出来ました。私は、続ける事の大切さを学びました。ありがとうございました。

支部長先生より一言 硬筆特待生おめでとう。「継続は力なり」を見事体現しました。次は毛筆の特待生を目標に頑張ろう。

先生に感謝

名東支部 中三



和仁柚菊乃

今回、毛筆に引き続き硬筆も特待生になることができ本当に嬉しいです。いつも優しく丁寧に教えてくれた先生、ありがとうございます。これからもより上達できる様に頑張っていきたいと思います。

支部長先生より一言 いつも丁寧にきちんと書く姿は気持ちが良いです。字に表れています。二冠達成おめでとう。

ヤッター

中野支部 中三



古田福人

小学校低学年のときに友達に誘われて始めた習字も、遂に特待生になることができました。ここまで頑張ることができたのは、わがままだった僕にも優しく教えてくれた両親のおかげであります。これからもがんばりたいです。

支部長先生より一言 よかつたね福人君。貴方の努力ですよ。将来お父さんの後を継ぎ歯科医かしら? 楽しみにしています。

毎週通い続けて、気づけば六年目です。特に得意はなかつた書道をこんなに続けられているのは、三沢先生のあたたかいご指導のおかげです。まさに継続は力なり。今後も仲間と共に書の美しさを学んでいきたくです。

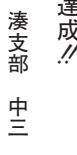
支部長先生より一言 生徒会役員も書道も大変。でも、どちらもこれからが楽しみ。ガンバレ! 穂さん!!

継続は力なり

照澤支部 中三



高沢穂



二冠達成!!

志渡美紅

少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」



汀楓支部 小六 岸本帆花



礼儀正しい帆花ちゃん、塾、卓球、ヒップホップと忙しい中、書道も頑張っています。書道の字は抜群です。将来有望な帆花ちゃんです。



瑞祥支部 小一 中村綾太



照澤支部 小一 中村綾太

いつも気持ちの良い返事を返してくれる智ちゃんは物作りに興味があり、将来の夢はペティシエになる事。最近はお習字にも積極的に取り組んでいます。

りょううた君は一年生になったので、自分の名前を漢字で書きたいといつて練習しています。むずかしい字ですが、意欲満々で練習しています。



月支部 小六 平岡麻乃



有穂支部 小六 ベンジャミンいさむ

小さい子に気軽に声をかける麻乃ちゃんのやつてみたい仕事は保育士。左ききなので毛筆はむずかしいですが、一枚一枚ていねいに書く努力家です。

練馬支部 小六 山畠愛菜



有象虹支部 中二 大谷桃菜



平成支部 小五 宮川円花

学校で積極的に大役を引き受け、学業も行事も大活躍。穏和な性格、内に秘めた芯の強さが書体にも現われ、筆特徴を目指して励んでいます。応援しています。

五年生になり塾通いが始まり少し忙しくなりました。お友達と楽しそうにお稽古に来ています。しっかりと線質で重厚な字を書きこれからが楽しみです。

須坂支部 小六 加藤ひめか



勝木支部 小三 友重和音



芙蓉第五支部 小六 金井亜梨沙



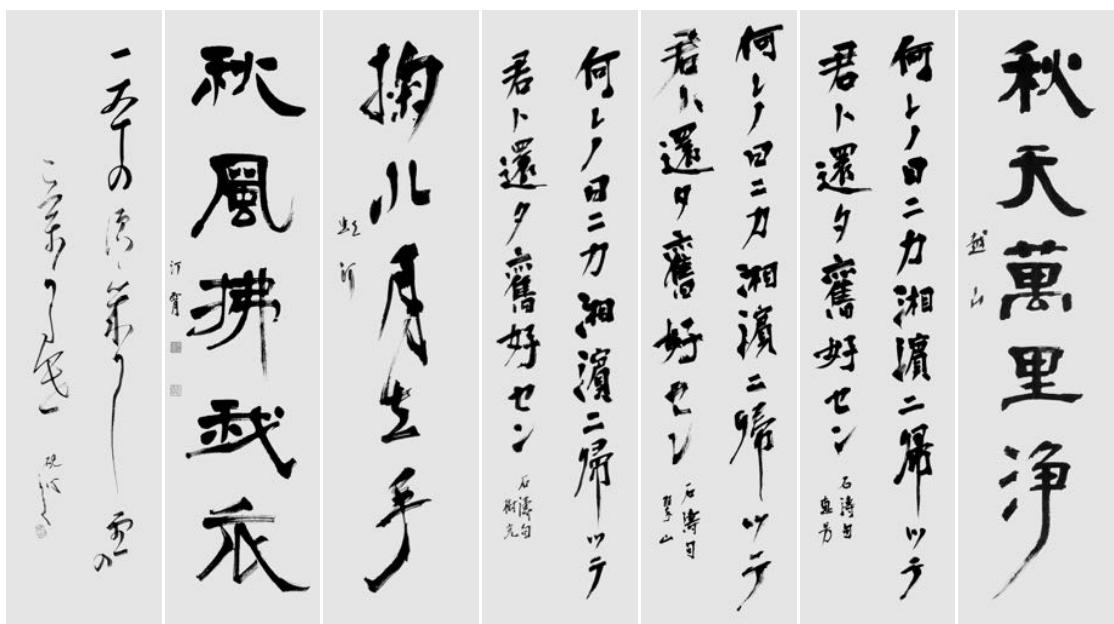
練馬支部 小六 金井亜梨沙

字がきれいになりました。からと習字を始めた和音ちゃん。四人の兄弟の末っ子で、笑顔が素敵です。集中力抜群で、短時間で仕上げます。期待しています。

お母さんは看護士さん。三人姉弟の末っ子。音楽が得意で学校のオーケストラでトランペッタを担当。今はファイヤーダンスを練習中。習字も頑張っています。

いつももの静かで、真剣に筆を運んでいます。穏やかですが着実に力を付けてきており、いい作品が書けた時の笑顔がすばらしい!!今後に期待しています。

今月の優秀作品



△隸書条幅△

評 山口啓山

光 扇 気骨のある作品で精神性を感じる。

秋 天 萬 里 淨

光 扇

董 蓝

文 嶽 線・形ともに安定感抜群常に優しい。

秋 天 萬 里 淨

泉 山

董 蓝

泉 山 豊かな表現で雰囲気が非常に優しい。

秋 天 萬 里 淨

泉 山

董 蓝

文 嶽 線・形ともに安定感抜群の秀作。

秋 天 萬 里 淨

泉 山

董 蓝

泉 山 腕法がよく効き強靭な線質が魅力。

何レノ日ニ力湘濱ニ歸ツテ
君ト還タ寄好セシ

石 澄 先 生

董 蓝

文 嶽 格調の高い作品で練度のあとが伺える。自由な運筆で独自の世界を展開した。

何レノ日ニ力湘濱ニ歸ツテ
君ト還タ寄好セシ

石 澄 先 生

董 蓝

泉 山 静 霽 藍 静 霽 藍 真摯な取り組みで見ていて気持ち良し。

越 山 贫通力が見事で最後まで集中できた。

△条幅随意△

評 市澤静山

惠 芳 よい線質で力強い筆づかい。立派です。

翠 山 大きさ、太さ、余白等すぐれている。

樹 光 泽元のある線で二行の行打てもよい。

△通信条幅△

評 大澤梢光

野口虹汀 線の切れ味は抜群で貫通力あり。

斎藤汀膏 線に動きがあり軽快な作品となつた。絶妙な濃淡、軽快な運筆で流麗な連綿佳。

基本課題

評 虎井暁鐘

松風遍

施家

松風遍

施家

松風遍

施家

松風遍

施家

眷觀光
王闢浣

精良狀

眷觀光
王闢浣

殊空

春秋

施家

春秋

便月

眷觀光
王闢浣

精良狀

眷觀光
王闢浣

殊空

春秋

施家

春秋

便月

擢秀宗

括花
師範
中田括花

靈福地

靈福地

研究課題

評 市澤靜山

梓 虹 余裕のある作風で明快に仕上がる。

雪 窓 確かな運筆と構造のたくみさが群を抜く。

梗 月 大胆な墨量で表現の豊かさが印象的。

月 古意を感じる作品で藏峰の妙味あり。

古典課題

評 市澤靜山

青柳綠水 古典の字形正しく、まとめ方も立派。

松尾小楓 虞世南の筆づかいがよく美しい線。

閔珠蘭 三行の字くばりよく美しくまとめた。

藤牧峰雪 伸びやかに氣持良く書いている。

師範部

△楷書▽

評 樋口玄山

花 細部の点画まで配慮がゆきとどいた。

一 純粹、単純、高い境地。

洲 余白の明るさが印象的。

洲 切れ味の鋭どさ、直線的な運筆が良い。

志 紗 動きの大きさと静かさを併せ持つ佳作。

志 この強い線は執筆の確かさによる。

志 含墨の豊かさが線に潤いを持たせた。

志 どこまでも伸びやか。練度の深さあり。

杉本統華 余白の美しさ、潤渴の清澄、今回の白眉。

豊田尚月 筆勢ある運筆で清冽。スケール大きな作。

今井春海 信山流の筆意を得て、軽快明朗な秀作。

吉池桜舟 潤渴を大胆に表現して若さあふれる作。

			<p>擢秀宗 昇菴師 清山</p>	<p>靈福地 祐芳師 嵯峨我山</p>
			<p>擢秀宗 昇菴師範 平野寿洋</p>	<p>靈福地 祐秀宗 柳範</p>
			<p>擢秀宗 昇菴師 高橋愛光</p>	<p>靈福地 祐秀宗 廣間</p>
			<p>擢秀宗 昇菴師 陳花</p>	<p>靈福地 祐秀宗 文化</p>

形の確かさは群を抜く。
山起筆、収筆、迷いがない。

愛光一点一画に心がこもる眞面目な作。

涛仙重厚、しかも軽快。佳作。

溥山行の貫通力、余白の響き、大佳。

節華平行、等分割、基本原理をよく表現した。

佐汀筆の毛がよく立て強靭な線質。

壽美腕の動きが大きく冴えのある線質。

愾花全体に素朴さがにじみ出ている佳作。

佐採花純朴さが印象的で、心に残る一作。

佐ハナコ線の呼吸が長く、基本の力が充実した作。

佐涛仙淡墨を上手に使い、明るさが表し出する作。

良子玄穂課題に正対している様子がよくわかる作。

翠桐自然な筆遣いで、穏やかな魅力が横溢。

琴香水濃墨で、紙面いっぱいに軽やかに書けた。

涼香一字一字の字形の美しさが秀でている。

光華線太の表現と全体構成がマッチした佳作。

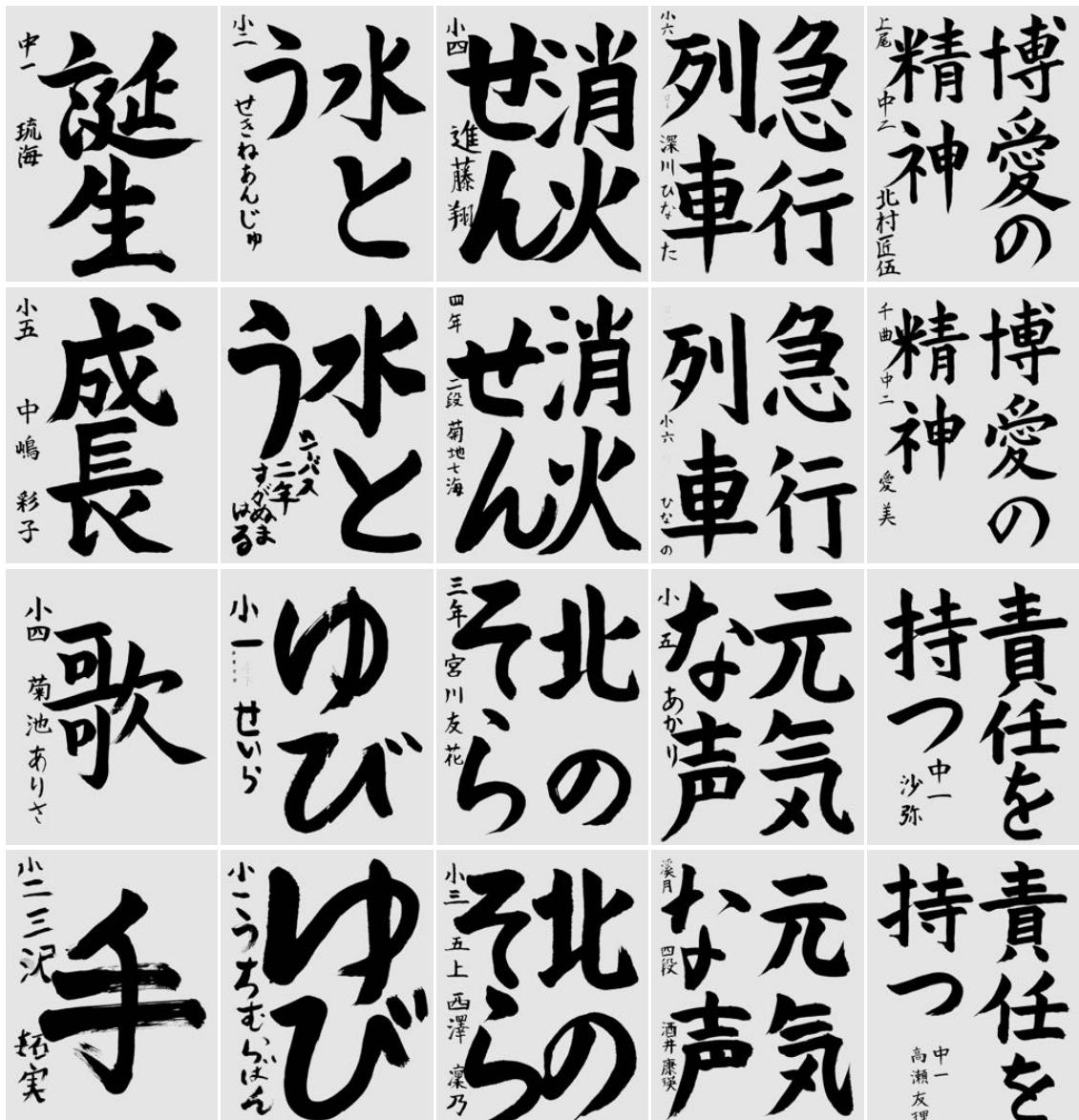
白紗伸びやかな運筆が魅力的な秀作。

泰葉潤墨の持つ優しさと深さが表現された作。

仙仙無駄な力が入らず、渴筆も効いている。

評 萩田光山

△仮名▽



半紙隨意

評 杉山窓影

このページに掲載された人には書象会より記念の
筆をさし上げます。

中一 琉海
誕生

小一 せえねあんじゅ
水と火

小四 進藤翔
消火

小六 深川ひなた
急行

上尾 北村匠伍
精神

小五 中嶋 彩子
成長

小二 さくま
水と火

四年 二段 菊地七海
消火

小六 深川ひなた
急行

千曲 中二 愛美
精神

小四 菊池ありさ
歌

小一 せいり
ゆび

三年 宮川友花
そらの北

小五 あかり
元気

持つ 中一 沙弥
責任

小二三 沢 拓実
手

小二 うちむらはる
ゆび

小三 五上 西澤凜乃
そらの北

溪月 四段 酒井康瑛
元気

持つ 高瀬友理
責任

北村匠伍 伸びやかで一点一画しっかり書けました。

中沢愛美 正確な筆づかいで美しく仕上げました。

中島沙弥 まじめな取り組みの明るい作品です。

高瀬友理 心をこめて一生懸命に書けました。

深川ひなた 厳しい線の力強い印象の作品です。

藤本ひなの ていねいに元気に書いて堂々としている。

梅田あかり 豊かで堂々とした書きぶりの作品。

酒井康瑛 やわらかな線でバランスのとれた字形。

進藤翔 力いっぱいのびのびと書いて見事です。

菊地七海 一字一字ていねいにしっかり書けました。

宮川友花 正しい形で気持ちよく書かれて良い。

西澤凜乃 元気よく動きのある作品となりました。

関根杏樹 ていねいにいっしょうけんめいですね。

菅沼 暖 大きくどうどうとかけてたいへんよい。

鈴木聖良 一字一字ていねいでよくかけました。

内村 純 いっしょうけんめいがんばりました。

野山琉海 線が太く、伸びやかで、大変印象的。

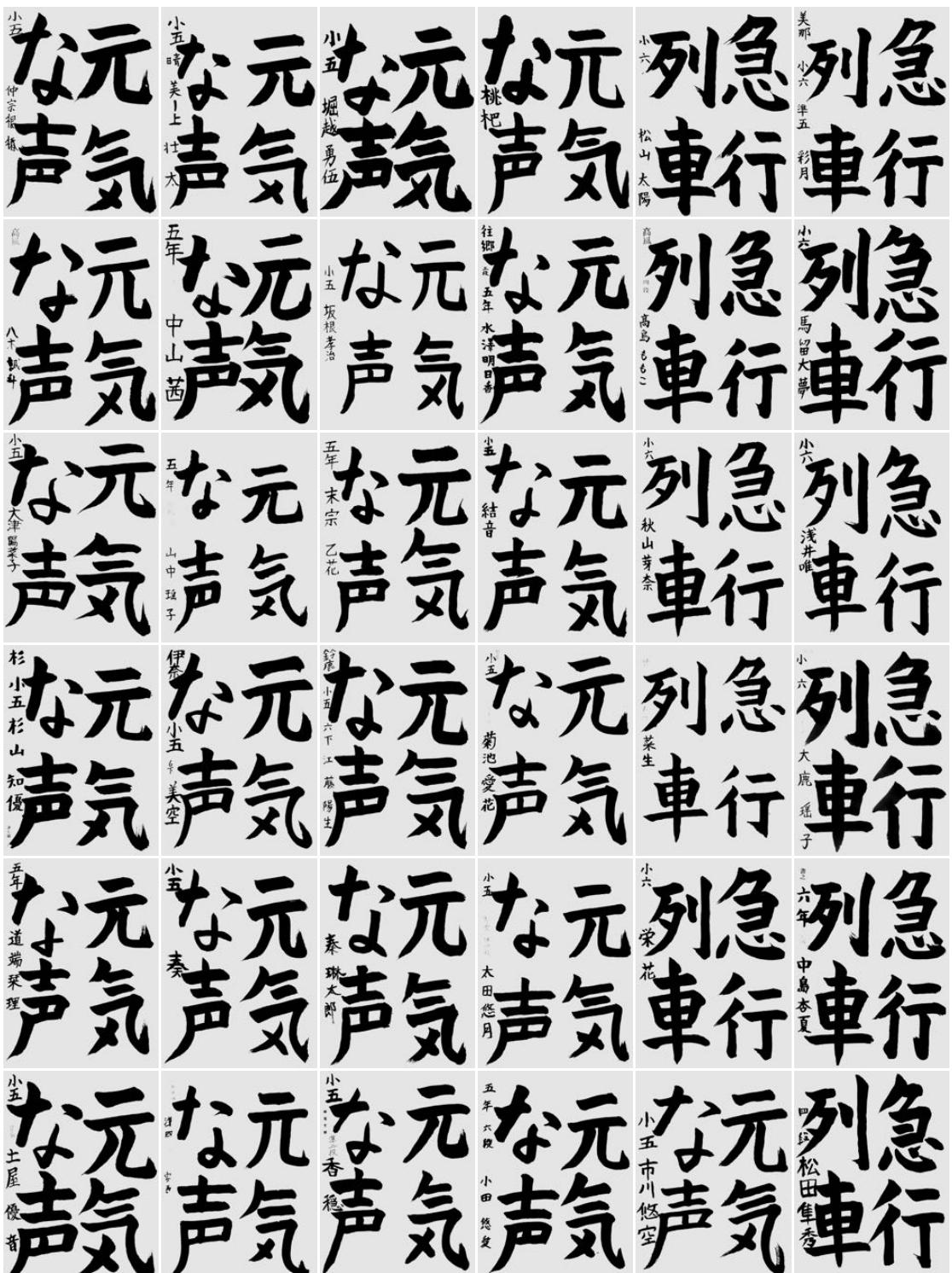
中嶋彩子 始筆から終筆まで、力強さがみなぎる。

菊池ありさ 「うまい!」「大人のよう!」「みごと」

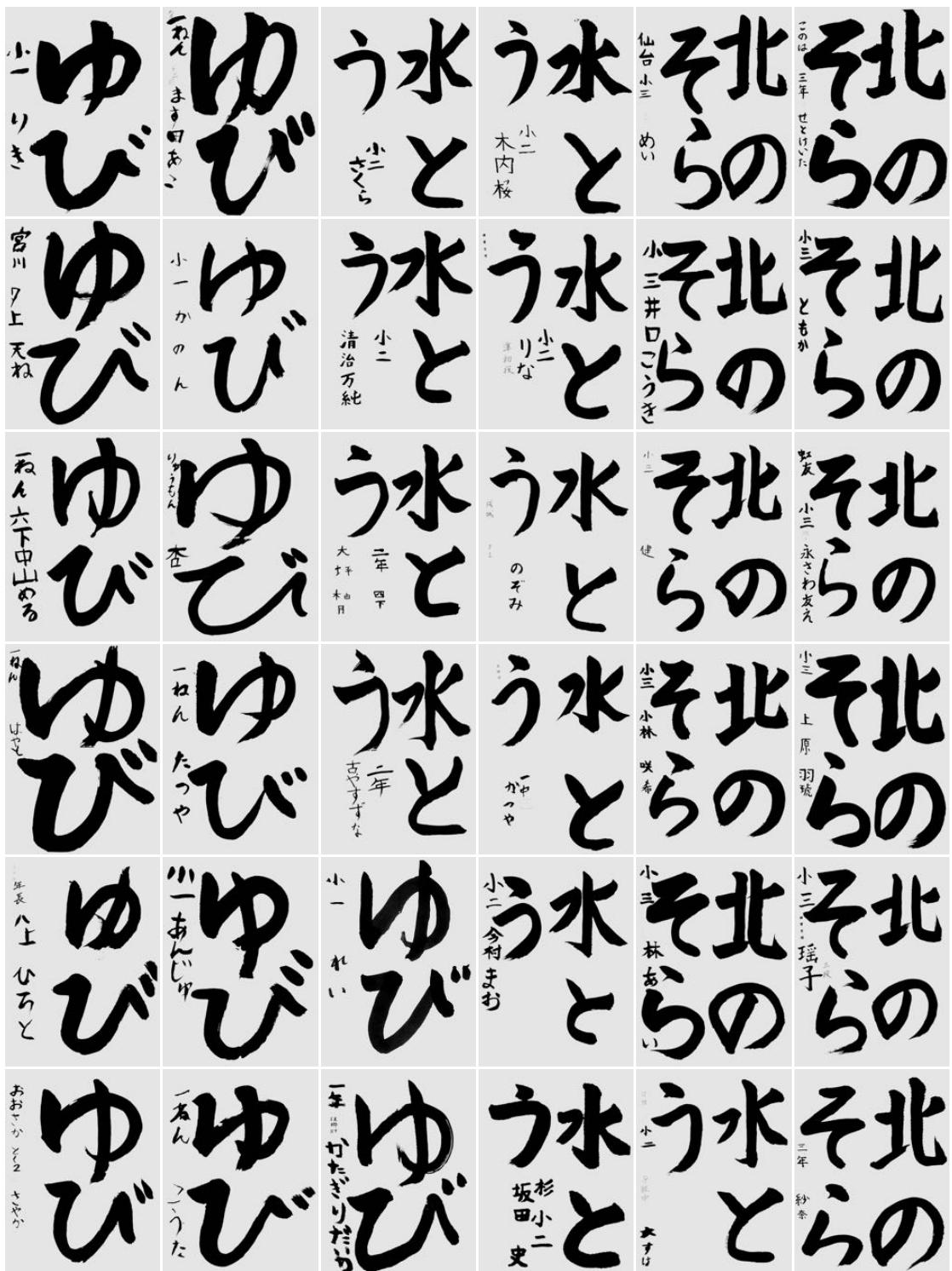
三沢拓実 スピードがあつて、ふとくとりっぱです。

聖小六 城野さくら	小六 塩原そよ香	中一 初段 小野優南	急行 列車	中二 精神 瑞子	責任を 持つ	中二 精神 川崎彩夢	博愛の 精神 心馨
美栄 六年 準三 心花	小六 佐藤淨之	中一 後段 細貝詩音	急行 列車	中二 精神 廣田あかり	博愛の 責任を 持つ	中二 精神 川崎彩夢	博愛の 精神 心馨
小六 准初 城野千夏	小六 宇佐美初心	中一 亘間瑞希	急行 列車	中二 精神 純寧	博愛の 責任を 持つ	中二 精神 由枝	博愛の 精神 心馨
優空	小六 和賀井美穂	中一 持つ 遼子	急行 列車	中二 精神 松永朱莉	博愛の 責任を 持つ	中二 精神 土屋病乃	博愛の 精神 心馨
小六 明都姫	小六 齋藤百花	六年 矢島秋隆	急行 列車	中二 精神 友香	博愛の 責任を 持つ	中三 精神 半田元輝	博愛の 精神 心馨
隼翔	小六 准七 伊藤暁介	中一 持つ 朱莉	急行 列車	中三 精神 平塚智希	博愛の 責任を 持つ	中二 精神 田川彩音	博愛の 精神 心馨

[毛筆] 中二・三
 月華 玄新 美聖 茅大 杉硯 北水 李硯 小六 有中 高小 飯山 曲千 中一 みなか 光丘 照澤 黙蓮 中土 筆竹 雪高
 雪樸 新城 菜野 象扇 府代 光若 松名 東霞 墨飯 山野 細貝 松永 雪本
 神岡 増野 橋口 関口 坂野 伊藤 齋藤 佐藤 塩原 島田 小笠原 平瀬 古渡
 崎明 千夏 心花 瞻介 美初 美淨 純寧 元輝 乃由 心馨 乃枝 夢馨
 隼都 優空 千夏 心花 瞻介 美初 美淨 純寧 元輝 乃由 心馨 乃枝 夢馨



倭平 杉上 高風 光丘 芙二 光創 源三 池美 晴雪 華默 鈴玄 富士 青富 富士 青富 富士
成 成 田高 竹若 伊奈 源創 三池 晴美 雪 黑鹿 静翠 富士 青富 富士 青富 富士
土屋 道端 杉大 八木 伸宗 安西 藤井 深堀 中山 黑澤 波止 秦琳 未宗 坂根 堀越 太田 小田
屋 優音 楠根 誠知 菜子 聰椿 韶奏 美瑠 茜壮 太阳 生孝治 乙花 阳生 太郎 香穂 香穂
大夢 彩月 唯 娜 姬秀 喜夏 瑶子 太阳 勇伍 月 悠爱 芽奈 菜生 菜生



大 芙 花 游 宮 山 光 平 龍 練 杉 往 鄉 瑞 祥	小一 奈 芬 雪 松 飯 田 二 成 雪 騎 馬 楓	小二 ひま 前 虹 華 雪 高 社 友 み な こ の
阪 五 墨 川 馬 愛 丘 成 文 雪 月 瑞 祥	神 奈 雪 松 佐 高 戸 河 嶋 木 内 矢 本	志 摩 上 原 華 雪 高 社 友 み な こ の
平 田 村 山 前 畑 地 田 須 西 駒 片 桐 増 田 稲 元	坂 田 古 藤 今 村 高 戸 河 嶋 木 内 矢 本	岡 本 小 林 松 本 井 口 五十 嵐 紗 奈
嘉 魁 美 天 理 航 杏 達 花 音 大 智 伶	坂 田 大 坪 古 藤 佐 高 戸 河 嶋 木 内 矢 本	瀬 戸 上 原 華 雪 高 社 友 み な こ の
加 斗 士 琴 廣 天 航 杏 達 花 音 大 智 伶	坂 田 清 治 今 村 高 戸 河 嶋 木 内 矢 本	木 村 永 喆 瑶 子 羽 琥 朋 啓 啓

一九二六年五月に少く日本の洋学運動に新風をもたらすことにはなりつゝある。音波師

収穫したばかりの新鮮な野菜が、朝の食卓に並んでいる。食欲をそそる。久喜中一七段 石井董花

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

わ
か
で
す
。
わ
た
し
は
。
の
本
の
か
ね
大
す
中
央
え
れ
ま
い

【小五・六】石峯 前田実紅里
高社 横山 京節
玄默 相原由美子
久喜 朝日 平成
大阪 深海 塚 木村 湊

【小五・六】伊藤 華蓮 関山 春玖
木村 深海 若竹 横山

【小一・二】仁謙 華雪 有象 廣谷真結子
申仲 華雪 伊藤 廣谷 高社

【小一・二】北川 中央 鎌田沙弥佳 桃子 桐子 鮎墨

【小三・四】園部 安江 岡野 石井 蓮華 鈴菜
村中 運連 林 多田 柳田 結香 琴美

【小三・四】仁謙 麻衣 優心 申仲 心優
申仲 麻衣 桃子 桐子 琴美 爰心

【小一・二】仁謙 雅華 華雪 伊藤 明恵
申仲 雅華 木村 小雪

【小一・二】仁謙 雅華 華雪 木村 小雪
申仲 雅華 木村 明恵

柏	瀬右	瀬美若	上	石大美霞	大上	華	霞小	華	珠桙小	石岡今松南笠	照春土心乙硯	墨
心	戸文	戸墨宮	尾	峯手墨墨	象尾	雪	墨平	雪	紅森平	烟谷井戸武原	澤鳳曜和訓	心
華蓮典白	梢友弘	照梗康康	瑤八光	都夕雲	西圭水康	華華華	知溪晨虹	木華華	華奧良珠	珠暉杠	翔通武久寿	泰照照春蘭益千真美翠景
重												知
峰舟子	羽陽松子	子華沙清惠月子	風光霞	峯光苑	煌仙聲駿容子霞堂霞	華杏照凌櫻	龍杏楓	山華花鶴明春	子煌仙和好鳳月亭	晶理子溪城		
芙聖中	靜信柏倚蒲汀	霞靜光珠	華橫美	宮六玄書珠	珠土珠平蒲	玄飯高央	瑞書	瑞白文書	帶	柏信八帶	瀨	
二	野山州	心雲田松墨山丘紅	雪浜五	地会心	樸集悠筆紅成田	黙田風準	祥之	祥山化之	中	心州南中	戸	
み惠康秀百	順佳明珠佳裕	か華華華	晨尚真信	ふ優荷勇知姚	こ智典浜勝	高範	雪名名奈孝名	壽名照舟佐成和	久芳鹿楠	令祥孝五桑竹喜		
ち	真	ほ	じ	す						代	美	
予美子凰采	子子美惠凰子の穗	虹琇英子弓子枝姫玉一子光え子名江月	下洗琇々子松紗柏節龍子美子舟聲舟子菊之代軒心									
董玄相	上備杉	「大高伊六」	「玄巍」	玄飯南大竹若	北	高霧李秀	「杉唯」	「笠玄麗游	沙長杉大	土碩入中書湊墨		
心模里後	師	仮象風奈会	心山	樸田淀華竹	府	風訪光雪	心			原心墨墨羅寿月阪	筆雲間野集	洋
透秀秀透秀透	翠良濤ハ採	範名	宗裕か恭和雅	了伊綠充福秀梨明雅美佑照ま立京菊煌娥紅聰真理安隆雅米廣紅文千寿杉凜啓絵輝空鐘朝皓香め								ぐ
ナ	お	登	希	さ								
桐穂子仙コ花	心香る子雄子瑛子雪風代榮翠佳音美友子悟み子子枝扇舟流子美紗芸子子實峯川界羊星峰エ光美子正香子草織み											
「巍倭產美杉八書玄瑞蒼藏富八東サ東瀬有自伊須領一映」	「小」	「京施國妻葉書房若」	「笠玄志」	「富小玄静上視巍笠高玄長桿甲山吉苑戸之成祥穹士南陽ノ光戸穂產奈坂絵心光	「都友府科月集風竹原黙摩貴平獄尾」	「山原風黙野森府						
秀秀秀	翠霞露緑春沙蘭玄蕙穆名秀恵美江江豊道草穂和康徑智恵映光小邦雅匡洋虔雅惜芳谿天耕泰泰圭楊天木本文玲康觀小泰白光秀涼琴											
山舟菖水桃麗庭凜翠舟松麗香穂蕙風翠子竹波春絹石祥爽芳惠琇楓幸楓山華春子山翠山蕙城鳳舟藍虹華子秀沙心映仙葉紬華香水												
静	上	北	長北	長花	長静	霞長信	長有文春浅	玄				
尾	府	野府	府	府扇羽象曜	野象	野	墨野大	野象化亥間				
秀秀秀	優康康康康友伶頌凌仙	悠幸静杏静静晃溪隼朗靜小靜君美靜寂閑谿千西鈴靜靜翠鳳恭靜靜虹夕溪玉梓文靜要富靜麗節京朋夕統霞	惠									
月惠清蟹仙美那山翠翠	翠静洲靜淑映靜苑山仙敬翠思子靜惠翠子香景光華唱邦花吟光琳幸霞霞靜虹靜信竹靜澄吟華節苑紅華泉											
「笠茜霧小」	「笠」	「富南」	「玄」	「華平」	「大」	「静華」	「石大」					
原訪川	原	貴墨	黙	雪成	象	雪	峯手					
泰泰裕舒流や泰泰広隆泰泰真泰泰明藍千怜典重華越薰天禾大齐桂春心華華華華華祐水主盈静京遊珠靜江奥八瑠光裕	よ 加											
空草沙山渓い咲松姫子慶帛美穹子淨舟笛月照香子子英山禾意苑我花雪意燈遊騒聲優芯穗凌慧子煌苑月花江心蘭鶴秀靜泉子月風靜	重											
若御樞	「御」	「皓」	「水」	「志游」	「紅絹龍」	「玄東乙晏乙墨」	「壽絹」	「玄」	「富」	「志苑象昭靜玄土国」		
竹牧友	牧	花	代	摩墨	雪丘文	嶽和訓墨訓心	台丘	嶽	貴	摩	月島	嶽曜府
太貞綵尊貞豈皓翔景皓隆祥峰聴汐香雪泉紅紅象映詠詠直千泰千翠招訪瑛華英芳双清李喜天陽清未涼由洋清秀葵壮景泰泰	美											
一月華泉洞竹苑雲子光花雪月香苑園梢柳彩敬月雪茜汀李子春慧晶溪子泉月葉葉葉葉葉葉咲苑景子央華子子苑峰葉山草薰恭寿												
「湊」	「房」	「葉六宮松岡志今半」	「石」	「美」	「土」	「玄」	「照」	「観茜乙半」	「梯南」	「高」	「笠玄」	
風	月会地戶谷摩井田		畠五曜	鳳府黙	澤	訓田		森墨	風	原黙		
妙華展汀壺壺理和美壺百琴ま啓真美千笙久通道武景翔翔尚蘭春景清照照美真茜青桂哲好星英惠劍南祥有清懶泰久旭汀冠萩恭智合す	佐奈嘉美											
仙遙秀香登玉桜子玉水子三子子子子子子子子仙子明幸春城花哲鶴子月鳳泉玄和好子理沙葵翠山山紅遠星山岳仙希風花桂惠蓉心泉玉月												
「京」	「小千」	「長巍」	「妻」	「蒲静汀」	「柏葉珠」	「南」	「書」	「右」	「八樞八」	「正梯彥遊嵐」	「源」	「京」
都	光曲	翠山	科	田翠松	芳月紅	武	集文	潮友潮	桂森根	山剖都	雲	
邦初悠信光光光靜莉晨紀樹響琇貞春春文典玲靜由彩己我弘珠壽陽谿谿愛雨梢松壽巡花み花と暉	遊弥澄邑美典瑞純明麻竹皓晨											
子楓楓穂霞漣志光光光光松清瑠子子笙翠子雲芳山子遊煌笙芳彩祥鈴虹琴菜月巡み峰子山	なよ勇											
大	勢心南	森	勢心南	心	吉	菜都	華	象鄉蓉	羽筆	阪	野	都
内												
す小溥文光彩素天桂桂珠南映映映動静勇高翠麝博裕善淳靜寿香明幹	光明珠肖榮和佳照惠富真碧花錦青芒麝泉た彩津壽明紀良											
枝琴山嶽水紅風妙舞耀岐流祥笙華香峯苑花苑月楓子子成汀子惠雨	蘭玉悠榮香代惠鈴子子瑠瑤泉松苑香志ね楓楓雅子美子楓											
八	「土」	「新備」	神董源	「自」	「新」	「茅」	「美秀本」	「瀬」	「サ」	「国」	「飯上」	「東」
南	筆	城後	創	産	城	野	墨雪庄		辺	路	府	田里
以	登	惠										
雅光光織子川紀子山陽水遠愁快紀江子弦豊子道光子子悠秀鈴羽子春代子松舟舟絵園仙苑仙翠蘿華理子子え舟子子織砂映春香												
「瑞桐」	「東美岐」	「六南」	「備折崩」	「上」	「磯」	「桐」	「宝神」	「四」	「磯」	「松八一」	「綾み」	「白珠大」
祥生	陽那	阜鄉	後原	象	里	辺	生	春奈	辺	南南絵	華月	岡悠泉
名名名名壽名壽	千江壽	保昭福	菖柏	靜心	陽	濤葉	葉秀	宏裕	寶榎	象葉	葉葉葉葉葉葉葉葉	
芳扇	洗柏	紗琴琢	石苑翠	峰子	惠栄	朋柏園	素松	映山蕉	梢	泉翠	美美春泉	楓徑苑
白	帶竹玄	書	相八	杉若	美	游	美足岐	「」	東	産奈	港國	沙神
中	友成	之	模戸	松	苑	墨咲	羽阜		南	府	羅龍	南心橋
照和孝	朴孝成	初敦彩	秀無陽曉初肇沙沙沙禮美友英美孝見感祥千秋励窓玲蕉窓	綾花穗	春香	希絵裕	美湖秋梅	梅妍妍	菖	菅	横宮二	晴
節子	之子	子山子	美江子	香庭	双子	汀泉子	雪春	桜	泉光	惠子	泉扇	泉笙江雅紗

浅信大城 文春有文游案巍	灝靜美 八愛灝	葉書 小葉若香	玄巍 案巍皓石瀨土	六 静北
間大阪彩準化玖象化墨書山	戸那 南心戸	戸花 月集 光月松	樸山 書山花峯戸曜	会府
秀秀秀秀師				
朋梓凜真範 晓千有紗征晴小五友喜弘友草小露春希絵心真竹桑白陶翔美芳ま霞雨光小光真肇藤春め袖茜松美皓瑞典鈴千美君優閑	理 余す	佐 ぐ	嘉恵	
苑虹玉美 麗節美虹光沙子代松春子梅竹翠峰信紅里鈴子心軒羽華子子子祥虹霞譲子子里み香英沙茜麗花月子華子子月子				
柏玄長青書草 委若大中聖桜霞上水	若静浅玄巍静国草桜大柏房若玄	葉桜聖皓浅若聖大伊	玄游相舟船志書八華若巍桜	
心成翠雲集 竹阪野 森墨尾代竹間樸山府	森象心風竹樸基	月森花間竹 阪奈 心墨模雪橋摩之南雪竹山森		
楠穆暎晨竹雨翠冠景玻肖花光夕康峰鐘志遊蓉翠霞静鶴翠劍悠採春尚統本	○○○	陽素優璃皓湖早珠か廣勇友良百美涼成し華	恭星	
舟舟光光虹紅紗泉花玉榮瑠水霞春雪嶽華心光法菖花苑雅山花舟海月華		藍お合紀の舞		
若巍玄房靜志高靜 巍靜妻書青房桜玄文稿玄若上静小	〃静大若有龍信	子風華子雲泉苗 松る峯峯子子香子華美穂	影紅	
竹山心風 摩風 山翠科集雲風森心化川樸山竹里光	象竹象文大研	〃静長倭杉若靜玄静笠 西上静	玄玄磯桐瀨	
悦貞勇天静雪白靜西霞靜惜谿竹天廣蒼玉泰統江	□□□	野松樸原里 黜心辻生戸		
舞		静京恒靜綠煌八珠小竹泰美茜濤秀光天玄葉濤心		
子松峯澄秀園葉思草泉翠春山虹翠山峯香泉華茜	仙峰漣靜心月秀月窓雪虹	知	知	
有樺土花石信靜長青土長玄巍大水靜玄倭	御巍 〃玄淺文長	惠江靜洲水扇惠蘭楓鷗仙子沙仙峰絳遙勝曉石鈴		
象森曜象峯 大野雲曜野黙山阪代樸	古	御巍笠瀬志國白伊蔵桜産書長御	若游美八絹文千	
香溥蘭翠瑤秀梓朗靜竹花映光霞坡峰珠小綠	研究	原戸摩府岡奈 森吉集翠牧	竹墨菜戸丘化曲	
窓山月花月峰虹仙淑虹仙春紗菖玉雪蘭楓水		貞翠翠夕小祥麗皓冠鐘鐘西佐西泰真心聰峯明康恵劍高雨秀耕由文霽光象曉靜		
白長芙蓉 竹飯船瑞	〃笠水雅美紅新	知	知	
岡壽睿書四華田橋祥	磯相土茅大玄長高	泉山法紅楓映節靜泉嶽仙英美沙仙子鈴月山泉絹香山苑虹光月山子界月扇月麗志		
段栗完木名丸百藤雅平中渡浅古木藤長濱靜小段	磯玄巍東	〃サ	五	隸書条幅
泉輪原田 原本 山山渕牧 野村辺木屋内木島原田林 田井 藤野水	笠富青雅大董東玄瀬柏靜神高中大	笠富青雅	原貴雲 阪 陽心戸心 龍風野阪五	
香寿明澄 幸碩敬穎美隆雅隆染め美晴葉葉良馨正翠緑映真 淳苟め西子織と早阜安姫淨瑛明雅滿江紹廣野綾竹風希華珠	五	八長麗映草雅乙笠北染石神愛飯若土玄虹		
八磯東草 新霧梶 静 笠妻平櫻石 筒書玄芙乙	サ	戸寿墨心	戸寿墨心	
戸辺陽 城訪友 原科成森峯三原黙泉五訓	○○○	松山墨府松象心筆墨城墨	原府書峯林心田宮筆心友	
☆☆☆		八長麗映草雅乙笠北染石神愛飯若土玄虹		
工井山藤陽和木新関小赤中中泰高栗百菅角礼須茂友石松秀小古征伶采土合東折川桜谷上紅中水雅荒杉頌幸野倉原岡佐光	段	戸寿墨心	戸寿墨心	
藤上田橋登田内倉根島澤原岡見原瀬原崎 田賀 田并葉島笠本井 地條溝本木山	藤田佳橋田 俊谷永中 内多賀藤野	澤科給庭藤	澤科給庭藤	
和葉敷とい江彩日立花静み宏や岑澤智白節 雄山香尚子美眞庭由晨光那八雲詔陵琴佐農 春寿川映静映京江山泉州高豊里青梗蘭玄響	段	山森湖心藤森	山森湖心藤森	
麗藏小六 信八入観野若相 大中雅六中平笠北八志 玄若柏書源	新中静杉茜梶	八長麗映草雅乙笠北染石神愛飯若土玄虹		
墨光会初 大戸間 辺宮模 阪野 会勢成原府潮摩	准黙竹心集創	戸芳森創心洋原 泉竹	友準菜墨嶽芳	
☆	城野二 戸芳森創心洋原 泉竹	☆☆	☆☆	
麗藏光布 佐野空真楓竹大吉松林藤安平辻佑真登吉倉段影 佐寺熊岡摩松悠吉蘭茜山段加弘成奥宮映竹篠及錦池長東段	段	山森湖心藤森	山森湖心藤森	
牧田久里 本前菅村田珠原藤井岡志田谷山久尾田江下澤 口藤澤原本澤之川上田谷瑞田島	藤田佳橋田 俊谷永中 内多賀藤野	澤科給庭藤	澤科給庭藤	
川稜搖恭 間次正理淳梗レ珠司怜鐘雅ふ啓子美子み良 浜間春勇邑紀永華靜庭沙綵 五子衛格香笙香井翠小晶川子	五	山森湖心藤森	山森湖心藤森	
大桜游大 葉笠富大 葉若八麗大葉梶長玄高花葉	八さ六長玄暁柏 玄珠八玄八書梶静長瑞靜 中葉瀬源宝大磯東	八長麗映草雅乙笠北染石神愛飯若土玄虹		
3阪森墨阪 月原貴象 月2駒戸墨阪月友野黙風象	1月1戸わ会野嶽月心月	特模悠潮黙戸之友 翠祥 特野月戸創春阪辺陽準墨華	戸寿墨心	
級濱湯周田笛渡渡藍水鉛等級 清江芳山啓浅美薰佐木本真級 小櫨朋相華唐飯堀半仁上金孝柏玉荒名林	○○	○1	○2	☆☆初
田田藤中生辺 木す 戸田野 孝間佐 笠原木木島 内田平原見崎井玲 石川本寿 井子邊	木島	村吉宮裕針葉筒	筒	神渡久
珠坂文彰芳陽真香舜敏子 花恵江由子洋香禾美あ子	原節実美華眞曉真	里知賀章純子と麻優柏奈 香愛眞仁美喜蕉江		
静麗『聖』 若玄游八霞長 新中長華映伊静北 大正新伊中静小大暁八有	書中富	大六葉笠石大桜頌信園	大六葉笠石大桜頌信園	
墨竹黙墨潮墨 7翠 城野雪心奈府 6阪桂城奈野 平象月潮象	5集野士 原象山阪	4会光月原峯阪森雲大月	4会光月原峯阪森雲大月	
佐高碧南柄 佐頼友鈴湖級 小神重清中華中黑蒲凌級 宮楽川林肖伸鹿松宮中級 吉坂秋市手渋貞落武壘 千光知石唐若征	○○	○○○○	○○○○	
藤田澤澤藤木 林林松水西 川田原田 鍋か 島島部川 田田齊川塚谷合居 嘉 井津井征矢井内	田中島部川	吉坂秋市手渋貞落武壘 千光知石唐若征	吉坂秋市手渋貞落武壘 千光知石唐若征	
里倫瑠亞悦舞山子彩堂 桂桃千美智慧珠菜美翠 珠明麻お華予未晴曉美美 朝さ和代沙希和松良典裕	珠明麻お華予未晴曉美美	正心陽心 早香田由笑千貴裕清明千由禮志琳加清	子硯真和由伸野健ち美煌	
サ名北美 中 若杉美宮神霞 玄藏笠高 倭巍玄 華杉須	相大右若 八瀬大若小大笠玄	相大右若 八瀬大若小大笠玄	相大右若 八瀬大若小大笠玄	須
ン東府菜 野 松 五地林墨 心 原 風 山 心 雪	段模象文竹	段模象文竹	段模象文竹	8坂
星大吉森大土加弓青齋牛倉服南一藤角中小模西加板真大梅由邀木	五	五	五	
野津富美津屋藤削木藤丸科部條 牧崎本林田村藤坂由川原下 早伸慶希忍鐘昌千響百和佑美幸接雄麗貞靖宏里和美め華貴月美	段書	松宗梢丁位落林後相山廣林松田鎌白青神名刈望	松宗梢丁位落林後相山廣林松田鎌白青神名刈望	富澤
碩士虹玉美皓瀬富 秀相月八和神さ瑞八桜 柏西李土碩和宝	書青須革	本不合理的藤原中由中澤中倉木木山	本不合理的藤原中由中澤中倉木木山	澄
雲筆友辺 準菜花戸 貴 雪模 南 龍わ洋南花 心 光 筆雲 春 雲坂 城阪川運雲風山	五	正心陽心 早香田由笑千貴裕清明千由禮志琳加清	正心陽心 早香田由笑千貴裕清明千由禮志琳加清	
富山滙漫段 山皓石山耀小大松鈴丸梶作山春寺室吉幸井小上大松宏武大本藤松石田井大青理增瑞熊高鈴宍穴藤惠飯石宮渋友伊	田黑橋口百百菅落木島山原田元 尾賀田 原野原森本	田曾多橋下井申戸森木 井野橋木戸戸本	田曾多橋下井申戸森木 井野橋木戸戸本	
馥美譽淳 霽雲民安藍合合レ忠し 静祥節沙聰美春綾富江飛澤満淳孝美弓根千い永た満坂か順恵久穗珠耀代羌千敏子裕幸香政江と	田島千原谷島本藤井原島山藤原中由澤中倉木木山	田島千原谷島本藤井原島山藤原中由澤中倉木木山	田島千原谷島本藤井原島山藤原中由澤中倉木木山	
秀葉美長横須 土若杉新菓成水船心富宝游花玄倭	大笠志玄相八桐玄横さ光石秀皓美錦小墨大	杉	産八サ船靜若麗	
雪月二 翠浜坂 筆松 城 城代橋と土春墨心 四 象原默摩模戸生黙ニわ丘峯雪雲花菜黄光洋阪	五	吉戸ン橋山 竹墨		
佐河村鈴小荒織荻井鈴乘鈴木水中柴大西高森赤本井小段	松島中倉豊松工川上田丸加賀甘馬岡大寺浅青吉室前小渡谷松中黒林福折	松島中倉豊松工川上田丸加賀甘馬岡大寺浅青吉室前小渡谷松中黒林福折	松島中倉豊松工川上田丸加賀甘馬岡大寺浅青吉室前小渡谷松中黒林福折	
々辺石木林井戸原原鹿田木内本野田橋沢橋尚井間に上田 島千原谷島本藤井原島山藤原中由澤中倉木木山	島千原谷島本藤井原島山藤原中由澤中倉木木山	島千原谷島本藤井原島山藤原中由澤中倉木木山	島千原谷島本藤井原島山藤原中由澤中倉木木山	
木真爱盛夢優晨里吠武八蘭日静麻礼岳由真美恵あ美昭 晴春宏良美正和雅章盛桃政節恵いみ明鏡昇千珠那薔昭一春眞友祥奈朱琴	五	五	五	
泰正麗竹秀綾杉こ碩静碩大	華秀茅横玄倭横名梶横溪石松平柏花帶霧横	華秀茅横玄倭横名梶横溪石松平柏花帶霧横	華秀茅横玄倭横名梶横溪石松平柏花帶霧横	高秀玄瑞
野桂墨友 雪華の雲翠雲阪 野潮竹東野雪 城雪阪	五	五	五	
栗小西佐田篠井小鰐清松大土伊太田閑佐中荻赤鈴上熊中染三大森鳴松古段	松谷林林澤林真藤訪瑞田内鳴本藤林月	松谷林林澤林真藤訪瑞田内鳴本藤林月	松谷林林澤林真藤訪瑞田内鳴本藤林月	山水兼孝庭澤坂
飯林島々川田上潤桃田本島屋勢島中さ々谷原澤木原切西谷浦島清原田矢	原智美术美泰典千媚晶綾健さ崎幸彰ゆ木美恵み彩京夢智急敏石潔司花	あ桃則帆孝由晨彩子明麻洋祥信佳女郎皇川美朱裕実	あ桃則帆孝由晨彩子明麻洋祥信佳女郎皇川美朱裕実	

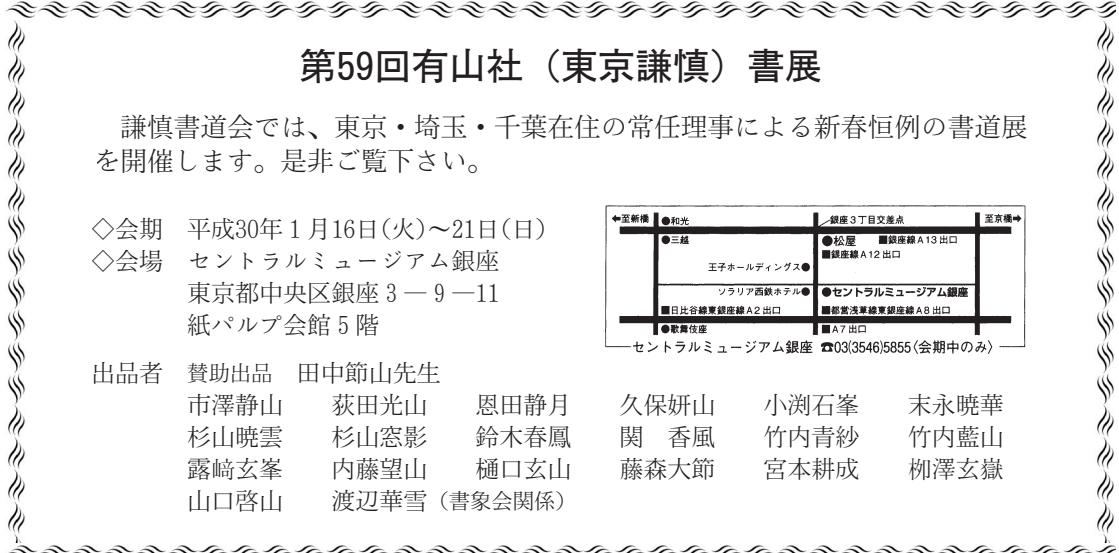
小秀若	杉城練新	大杉聖	若	華長柵八船富伊東自新国若	華硯倭玄月土	長こ	平珠宮書李志桃玄瀬八大	秀笠杉磯小晏 光雪松	彩馬城	阪	松	雪野友潮橋土那光産城府竹三雪	樸耀筆	野の成紅地泉光摩井黙戶南象	雪原月辺平墨													
木熊小杉長平酒川濱林根宮加谷安鈴相柏小棍岩城星小重細柄	段	土木小泉清上川寺油橋櫛三榦都須宇鶴本漆日新林加八白林酒鹿宇	☆☆四	村澤田村南田井鍋田珠津川藤遙田木木崎林谷野倉貞宮松野澤	屋村磯さ水田上島科爪谷田原竹藤田飼島谷比保照藤木日普井島留智ひ由和玉真と麻珠怜浩萌和華か里美と倉理楽理由山千恒悦	惠早典ら満尚紗ゆま里佑篤光恵香川和千勝野利子明あ紅子尚未賀																						
柏大須暁書秦月	横八玄	玄高桜美	秀	信城玄倭大新若華	横玄玄有信瀬柏花書	秦天国茜高笠光葉	秀	笠玄秀杉書靜柏練	心阪坂月集野	二南樸	燭社森二の雪	準大彩樸	象城竹雪二心燭穗大戸心苑之	野象府	風原丘月	原默雪月集翠芳馬												
飯武富平富小増高熊山和橋藤清百鳥高鈴段	堀日穴森齋神清齊越青植佐磯合北岸三田田保坂久伊酒鈴歌篠古林武竹武高小成鈴中	島居澤賀宮子橋谷本田立山水瀬橋木内置原知藤林木水木草久村葉村波衫中中谷口末藤井木田之田由井澤村橋林澤木島真弘澄紫和千君辰光詩吉親夏彩白幸智納	ち倫義子美桃勝祐蕙裕清光間ち詔す勇チ和百緝有大鈴秀敏円井和貴美茱知真輝衛ご真																									
華北八八船サハ八大	北玄玄	玄竹静瀬大瀬	横八沙大一小	玄八錦名中東大	杉大成華書竹玄杉練	聖北華成有志宝	千練若書	雪府潮	橋シ雪潮象準	府燭心	樸華	戸阪戸	二南羅象葉平黙戸黄東勢陽阪	象城雪泉華心	馬ニ	府雪城象摩春	曲馬竹泉											
門杉中淹高丸森仁渢段	向原狩堀虹高玉吉齋林高鈴南富宇中岸高江齊未述	林山六永石酒安及仲松圓見	段	南豊秋桑大山小青保世相鑑	澤田谷田塚本霜木井古原上	上里崇美紗美いみ賀和	梨里梨明麻真雅椿瑞知則川吾澄み恵美椋啓苗由羅桃理久ひ翠桃加和利	並萌賢幸和伊優直均貴由小																				
静赤飯ひ	皓美竹水静千横	六中	優	大平神珠玄玄	皓柏橫八石上	秀	八皓	唯美玄	秀中美	笠小	游大中飯美	☆	桿練	石田ま	花菜華代	曲浜初会野生	象成林紅心樸	花心ニ南峯尾	戸花	心默	雪野苑	原光	墨阪野田二	森馬				
武宮佐小渡二藤伊水蒲安南段	松金宇大久塚戸酒一若高林坂田赤吉唐竹松今小金野北古今礼柳原佐中宮石市井一長若清北刈湯奥吉	居下々林瀬日本藤野井并田嶽保越根井	杉橋愛腰中澤村津村本國笠見里村本浪	澤田藤原原井川上ノ竹井水原込田原田典如木史ゆ寺都優彩美由晨	智笑川瞳田菜川和実強真友儀惠峯忠由楓奈貞原純次瑞恵裕山円彩未岳桜和沙和瀬雅伸美み加坂柊真																							
磯富さ富右八	柏大小神富游土大	中杉船樅	観華た名八竹柏晏竹有八	照西高玄信平書蒼柏瑞瀬松中	笠小月雅長	勝花大	辺貴わ貴文	芳内光奈貴墨筆阪	野	橋友	扇雪	東潮華心墨	象南準澤	風心大成集穹芳祥戸	戸野	原平	翠	木象阪										
石濱村竹菊荻山竹中西内奥真難針中永片伊浅今宮村鈴渡竹田吉後柿近落段	小吉岩吉中夕小木心一安金湯山河當忍玉大山後田本吉	井名山之池原口田川野崎里波寿嶋川月野并嶋田木邊口田池藤沼藤合	松田井村津村丸藤子本村西間足井池崎藤部間井千干直内光千有愛育原由と奈優喜ル	静精晴洋優又智楳琳順奈愛大郎早	愛彩保美博住田香舟すち千瑠優玲月頃カ久晶豈恭健美																							
大笠柏書練城芙蓉笠竹	大柏一葉大観富	玄皓華静笠長硯北杉若ひ浅玄沙長東瑞美成皓紅	星有上華	照西高玄信平書蒼柏瑞瀬松中	笠小月雅長	勝花大	淀原房集馬彩二馬原華特	田心絵月阪扇貴	心花雪	原野扇	松間	照西高玄信平書蒼柏瑞瀬松中	笠小月雅長	勝花大	辺貴わ貴文	芳内光奈貴墨筆阪	野	橋友	扇雪	東潮華心墨	象南準澤	風心大成集穹芳祥戸	戸野	原平	翠	木象阪		
道渡松石槽清谷白手染級	山小宗三後八平富脇大山上手黄竹清古伊原坂対岡清服小酒清下根田越栗張級	田山高荒山藤羽寺小金田	喜辺井川嶋田篠澤塚谷	大竹木像木谷野田山口久田村塚海村野賀藤露本中澤水部森井水垣本村谷原中	中橋井田井山島坂森名	正真才静帆真立麻希教	里莉キ太田虹嬉幸彩梢保途美恵瑞拓掌仁健子ゆ脇利智桃朱信由美和光信勇由	万笑美稚ア和淳千奈章部																				
「さ」柏若美	一秀	飯李北平	光若皓船華溪八晏愛雅	笠玄北倭船美大富若北八華大	杉玄秀柏笠高秋	飯一珠長一	わ	心葉五葉	雪	山光府成	丘松花橋雪月潮墨心	1原模府	橋那内士竹府潮雪手	心雪心原風川	山葉悠寿路													
豊阿吉横磯廣氏根肥上平湯清山本豊遠大八友大和森酒小平鬼西級	藤南森長本ス山玉平細斎少久長古柳横丸小宇松西山吉半井一泉部原山崎部家岸田原松本水崎多田山木橋野岡田橋井林林十崎	森紗詩濱間ミ本木井田藤暮保戸川澤倉山林城村澤浦田向糸茉紀凜里ア優里涼来秋天鉢満杏希芽上詩英和胡文峻由摩陽か加綾	祐英音孔彩ス恵美里真実千祐智節早源覚由利希茉葉碧菜孝ひ																									
笠霞大高山練玄月秀若北華霞星ひ名一大船成中玄須八大	こ	船静右青千	珠美若	サ	一名船笠李中	大麗宝玄玄	笠秀	龍原墨手社愛馬嶽	雪宮府雪墨	ま東路淀橋城勢	曜坂潮の2橋翠文雲曲	悠苑松	ン	路東橋原光野	阪墨春獄	原雪	文											
牛塚藤深紺平川神外增小鮎佐上中松鈴岸木豊浦下田鈴宗多	級	平内津秀庄丸奥井東渡石森佐姪神唐吉山大今高堀藤小猿村宮中小清	山田田海谷有口崎原島鰐久村木本原田田枝鍋木千賀	野田村田口手上岡邊橋慶藤川谷澤田田住井田川森石田山下村倉水	眞愛美紀加啓沙裕天東夢咲巴保育勇香早夙真峯隆真栄米	茉彩星弥早莉璃佳香彩喜愛萌天朝日祐さ彩恵倫裕須あ朱由莉萌尚信																						
華光亥葉成美備富大美大晴霞練杉	笠大若八華光美玄備笠	「李山」「秀名富書帶	「富玄湊美	」	碩晴杉一玄華八中硯	桿練	雪丘心月城	二後士井阪苑美墨馬	4原田竹潮雪丘苑黙後原	光愛	雪東土之中	貴黙	野菜	雲美月路心雪潮央	森馬3													
中須成吉高穴柳鈴池松廣野小松山	級	林中安手清高吉小近森小園金大里稻常田三閨美羽波梅槌飯鎌大黛石佐吉加斎会阿三征禪級	手	烟田原戸井武木田下中林山谷能島部島水橋岡林藤舞柳真子楓川見田丸原戸患山多津口鳴田工ひ澤々澤藤藤田部谷矢谷塚麻千陽永牧ゆ和禮恵智千愛由聰直	活咲文貴蓮裕智胡ア花水知龍茂浩千彗美紀結子知野乃佳洋詩原よ卓木幸真綾汐乃理野利	麻																						
玄晏柏游秀	有霞大	倭杉曉大晴大瀬	一笠静光倚珠	「杉暎李名光大神竹秀北光美錦泉大み一産倚葉美長横	長泉珠秀中北	耀墨心墨7雪	穂墨手	月阪美淀戸	絵原丘雲悠6	6	月光東丘淀龍華雪府丘二黄華阪な路吉云二月	5	寿華紅雪央府															
高梅宮宮藤松平今石中山藤安岩正田栗柳久阿山奥村鍾冲田吉米上桐上野平	級	川林市中三奥須原成岸福熊押柳榎高榎村藤池今堀清沢崎島川本永木井戸村本原樂澤體村原樂保本部野松倉田中川倉島山野崎島百村林輪田田瀬本澤見木本田本田惠水知哲智真厚梅桃直惠直彩榮岡由奈夏亞侑実麻那千美明信治淳節弥慶沙美加	郁代友優桂圭明恵明秋麻千広成恵コ弘洋貴彩美奈弘																									
八柏書横碩土	大入	須碩東港沙游產	新珠倭	玄大桐高	英横葉	大大富華玄有若桿東大光月玄	玄杉	八	睿	2月	段阪井土雪心德松森光手丘	耀心																
光室咲小布村田大熊空木白文筒窓鈴青萌渡石和上模笠太武木真	段名	川佐衣位木原今北江横佐田奥安大関坂松筈石柳山森越	名藤	不下田井澤坂田藤中山田場千井本山毛祥下田朱阪弘江利明研康郁博聰佳真清る福照恵美納弘ひ子昂幸音部	扇綾奈明真啓滿凜珠正美千江江泉千由禾晴た彩珠靖朱荷秀澄菜																							
鈴伊小粟宍細恵佑小吉渡梗祥田土権穴南鈴土中森霽季須増青今竹小布杉信松内井幸吉百吉浦熊白伊小古友星伊石丸渡大鈴松保秀木藤林原戸田希林富辺中田戸木屋野晨江井木井澤林田本本藤上田瀬水田井藤町屋里野藤橋山谷森木本坂代知智華千雅子嘉慶陽花順鳳光差花し鐘真英華翠錦久千秀香桂恭祥子佳こ珠江富雅安花勇善孝谷葉江早と美祥政淳裕正秀映																												

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

さ船一飯茜桃玄和大華若秀游麗大練長御 締名 長玄瀬書船名横霧光溪石華若秀新長 玄若御 賽信瑞船飯玄光石若秀皓雅 わ橋路田 井黙 象雪駒雪墨墨阪馬翠牧 馬東二野樸戸之橋東浜汎丘月峯雪竹雪城翠 横松牧準木 大祥橋田黙丘峯竹雪花	
☆☆☆	
戸丸菊一三坂本高松島染真井青西田世揚貞吉鉢熊段 富高磯石梶諷森舒酒森野安渡篠和荒濱川加貞後森佐名中吉西鈴菅汀田岡雅 田山田糸和口島橋本千谷 上木島中古 田木切 橋村原谷訪晨 井内澤田会田田井田藤 藤知久 村川渕木原 川田碧正佳ひ玉有千み孝春紀花典由美彰貴光翠真こ夢 静眞ち幸理彩英山秀麻高か明泰彩優綠美昌月 豊子間洗友成裕智節心美み染	
新〃 大聖嵐城雅正瀬信〃〃 船名サ千皓玄秀華 李石練 華玄サ小国華秀磯東勝花大中聖桜葉小源大須游御玄 光高〃若玄瀬 城 阪 山彩 桂戸大 橋東ノ曲花樸雪雪光峯馬初雪模ン平府雪雪邊陽木象阪勢 森月光雪創阪坂墨牧樸准丘社 松樸戸	
☆☆☆☆☆	
木山針若南增清玉花伊中滝神高伊未石小林虹馬門小唐兒 段 齊穴平山前鴨甘酒林田本林辻宮奥鈴中八香吉富神川段 内田寿井澤井田井 藤澤田谷橋月田出山愛川澤脇玉木原山中山原中井早部間珠岡川原木島木 村澤山 田 野水遙林梨香 日由喜伸亞弥真カ峰道博紗萌美晴椋桂直友梨ひ里水由利 祐義慶笑景潔惠尚苗恭健怡啓胡萌敏真あ文珠澄禮泉か 和彩華和	
船サ大〃華大小〃唯照松神灘倭若華小嶺若 小練書〃皓長長瀬美秋茜富華御東神練麗美嵐構茅湊静小横光若 李上大御磯 橋ノ象 雪象川 心澤戸林戸 竹雪光山竹特光馬集 花翠野戸那川 貴雪牧陽奈マ屋墨菜山浜野 翠平浜丘岸準光尾家牧辺	
○○○○○	
平丸宇田村鈴塚流古今小金酒加齊山大木清柄級 井酒昌渡北清大杏安ス松吉小栗豊清内熊高森増織暁愛小鈴藤大相段 幸竹齋鐘井 野子田中部田木越 本浪松子井藤山川久村 澤 上井山瀬村水池 藤ミ村田柴原 水野谷田美井戸 林井木木原 村藤 上 荳い川万ひ智里菜渓裕愛千と富愛喜キ西悦和と和ゆ端由久静ちス希彩清由苑智由利倫希久晨道皓輝和久詩由 江楓美洞葉	
名〃富竹優蔵蘇大珠練小茅華龍優珠練千 静松李秦若和大八〃若龍秀船さ中房名長倭練船水御 肩葉〃練珠中大新〃山さ城 愛わ心 東 士華生墨 阪悠 馬光野雪文生悠馬曲 1 戸光野葉 象潮 竹文雪橋わ野風東野 馬橋代牧特花月 馬悠野阪城 愛わ心	
○○○○○	
松岩玉高柿宇長上岩奥白平西峰中小大丸桔安級 山高金田磯田安平中松大阿永高渡美長松本桜貞級脇知牛平半佐武渡紺大村鬼 村野木橋沼田竹崎手澤有川 烟霞鳴口崎山田橋子中崎島中藤部井村本橋部泉橋邊 口島岩田々居辺谷楓山十 勇樂美真有川雅梅和璃麻原加原弦麻尚瞳リ帆由 遼美龍和あ靜百美文里萌奈峻紀靜壇香孔聰彩圭竹 梢真春菜菜木弘晴紀茂直加	
李玄李華〃秀山 飯華和〃華李国一若干書玄新瀬船〃〃〃秀〃北紅〃大光李富北〃秀高 千玄竹若富〃大上華光北龍秀サ〃〃 光默光雪 雪愛3山雪 雪光府葉宮曲集樸城戸橋 雪府竹 阪丘光貴府 雪社 2 曲心華松貴 手尾雪丘府文雪	
○○○○○○○	
園小本斎竹柳白級 山森大清森吉伊増青石堀陽吉木上常今平肥小森下松大高原奥細宮横深級 越伊東平藤久長小須豊清原石田蛭 真林多藤澤澤井 崎清森森水田田景藤原本川内登川原原田國松田島詩垣田住佳敬崎田下倉海 田川藤岡野田保谷暮田水田橋丸川 知胡姫綾未円衣 杏石湾蓮由佑泉直東静里江眞颯秋替真天來夢音美司彩裕二と真莉源美 早裕俊香瑠美祐勇千芽信彩愛美愛	
美珠若若 大富東名光東華光湊 若照中秀山 晴中和笠光大中若 倭葉秋神若〃飯和有美〃秀有秀〃サ國瀬晴湊美皓小笠飯 2悠松竹6阪貴光束東丘光雪丘 5松澤央雪愛 美勢 原丘阪野松4 月川林松 山象墨 雪象雪 ン府戸美 菜花光原山	
○○○○○○○	
谷津村宗波伊禮松岩ふ果須藤級 古照坂佐志野石浦今久八廣中町級 三市山倉東山西湯奥石小松鈴近加節渡景藤田辰鎌と菊小清 脇田松節多藤本立み原田森賀 本々村澤田惠 島崎田中嶋木村科岡崎山原田森井木藤藤辺沢辺 田地田口水立恭美泉子野友子文明え亞歩踏 好仁好幹木眞愛卓患美惠英千ル彩 美太友豊胡葉美鉢圭佳圭朱真納明舟彩仙和恵秀詩文美雅満	
研〃玄大長巍大 黙象翠山象条隨 研大若桜玄秀若照 美〃〃〃埼秀硯大 石塔華琦秀美大秀大大若源秀 埼玄 埼霞秀大有 雪課阪松森樸雪松澤 2 玉雪 阪8峯玉雪玉雪二阪手雪手阪松創雪 玉樸 7玉墨雪阪穂手	
○○○○○○○	
研西光禾蕙樹翠惠幅意 運今川田笠中佐照立福山北狩外蓮三木田級 中森石久福穴沖閑若三宗藤宮里鴻柳嶺級 小福後柳宮 潤森本い井島中井西藤川本田平野阪山之谷中下 村朱戸保村井田千林輪干原本川村楽 沢林見藤澤島 心斎紗苑佳光山芳 み 惠郁清朱彩真和加麻幸龍円部裕池理治研 直音惠実かゆ信患知桂栄采香浩大侑花 知由千田夢智	
若大上こ城〃小茜綾み 千〃藏〃静練名 研城有乙有松 1 大聖港小晏高青静若水土大静花産藏桜笠信魏静御浅静倭書組サ〃茜 松象尾の彩 光華な 曲 翠馬東 彩象訓象戸 中小阪 南光墨風雲 竹代曜阪 象吉 森原大山 牧間 集丘	
□学	
安古長清浜稻小吉松山細中奥三高戸宮山青み浜齊永森野 中 珠花窓小泰祥竹秀咲峰花大静翠琴恵彩泰梓霞貞實祥京緑谿象直谿茜 陪川谷田田場野田本山島崎貝原島荷田本田山の田藤瀬高山西 部 村朱戸保村井田千林輪干原本川村楽 沢林見藤澤島 日遥波郁咲優風美詩愛亞萌京真純穂り幸天和薙壽 2 悅悠真説慧仙虹峰紅雪仙波秀花月香紅仙虹泉心月映江水山月子沙沙	
大石〃サ〃伊有平伊杉若美照珠み松愛サ竹〃有さ大峰水〃玄〃山〃静小倭有茅〃硯伊〃玄倭和倭照美水有玄サ〃〃 小象峯ン 奈虹成奈 松五 澤悠城な戸心ン華 象わ田 代 横 愛 翠光 小象野 奈 横 奈 澤五代虹點ン	
□五	
四・齋前欄杉石原荒飯渡茂藤青唐館宇塚橋板竹牧佐三寺小堀藤小塙北野服浅笠菊豊中 1・川赤嶋大館島勝北野高 片唐柴大廣杉高川 藤田原本垣木田田由呂原木川澤治崎野本島原藤原井林越柴原川澤部井原池島嶋六口堀崎澤澤田間川町橋豪庭川田野谷本鳩島 百実花美愛京真怜咲和悠琴楓穗橋心千葵華里麻和愛優勇陽葵そ菜瑠美久葵愛彩彩 菜景遙洋舞優萌深美胡 明さま悠真陽奏実	
7〃準二四5〃準六 下 初段段上 二段△愛心毛筆 北小佐小牧高巻山岩筆 澤野藤島原木田田田▼部 映真寧裏め優沙紗	
〃87二 763〃8 級段上△上下下上 西佐北巻筆 原原原鬼荒迫 田藤澤田雪 小十卷み 光英咲沙 乃晴友いな	
小・中学校の部	
平綾乙聖こさ港 有紅〃山玄〃大映綾珠み杉若〃こ〃静倭神伊八松新〃玄倭練上山〃硯名サ名 成成華訓のざ南 虹竹 愛獄 田心華悠な 松 の 翠 奈奈潮戸城 横 馬尾愛 東ン東	
星永増白中安野南戸花林田大中安小吉木久安多奥島星り椎山平秋竹大岡市原千柳嶋河落石菊 見田森林井島崎保部井桃中澤村蒜淵田村我陪賀田村杷 名田垣谷田印村田村田沢崎野合垣池 結も心心大優光葵華風子優簪舞い優朋佳姫谷桃来ん袖悠優結梨宗美凜流愛心祐敦沙結あ	
渚静玄若大さ霧神大 若倭〃硯若石上平〃綾山有峰花映大み平こ神さ茜練照 石〃大珠〃 翠樸松阪南湖わ訪奈阪 松 松峯尾成 華愛虹 象心田な成の奈わ 馬澤小峯 象紅	
小佐和谷歌赤浜都高三池藤渥宿福伊丸石源荻藤森原上高羽高木白矢古浜栗吉三・大木阿桃早 林竹田口原ざ野竹島平谷原美谷田藤山関原崎田田島橋野橋子石谷屋野田野沢二・竹村部川 愛由蒼陽佑わそみ彩清宣桜瓈楓春悠莉優陽大竜乃乃千理希美倖結すひ眞麻拓莉莉桜香実	
8715特準二準準四初準準準七特 準 8554特5準準準 準〃88722六五七特 7特準準一準準準七準 上下下下2初段初三段四五六六段 待飯六△上中下上1上初二六八△朝六△中上上中段段待△上上1六初 四六七段八 ○○	
安村上伊片黒篠田上小高黒橋高小松真貞支秋 筆岩秋尾岩高谷田秋秋 筆石古西高峯千竹北大長筆支栗平小坂栗坂青吉 藤松田東桐川田中田林本川爪本林澤 部山△井山城下井尾田中山山▽田澤山松村田村角谷▽田田林田口田口木田 日春悠春由彩夢理沙美郁一愛美愛愛希歩 華る龍瑛陽り瑠璃里華玲 柏 優梨彩十蒼愛柏匠地舞 真大千健雅哲果愛暉風	
準準五準〃〃七準特六〃準特 827準 〃8準〃六準4特準〃準準準〃83準二準六〃〃〃準特七 886588 七五段六 段八待段 一上中下初倚 級三段△二中2初 二初五 下 中初段四段 八待段△飯上中下中 ○○	
鈴鈴内柳有加金中斑鈴武安水白筆支伊植伊支于小佐松柳筆酒木宮梨服山小千赤渡佐轟木森松桑藤山森柳筆支今横今小北横 木木藤枝賀藤澤村木目木藤藤野石▽部藤村藤上部 梦野藤永澤▽部井村澤子部岸幡夢野澤辺藤雪村ひ永原巻本さ澤▽部村井村林原前 理慶大成光潤香利穂麻潤楓翔明 懈駿謙明 楠澤舞朱美 心萌壮袖田真あ美棋澤李六舞乃孔か朱映美愛や美 真咲抹拓輝	

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

竹華・千曲・茅野・中央・月・土筆・汀楓・照澤・東陽・内藤・中野・練馬・柏心・蓮田・葉月・晴美・半田・光ヶ丘・聖・ひまわり・富貴・富士見・船橋・書之会・芙蓉笛



第59回有山社（東京謙慎）書展

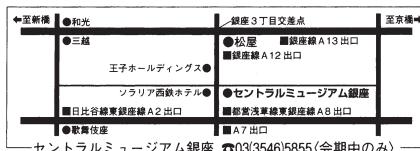
謙慎書道会では、東京・埼玉・千葉在住の常任理事による新春恒例の書道展を開催します。是非ご覧下さい。

◇会期 平成30年1月16日(火)～21日(日)

◇会場 セントラルミュージアム銀座
東京都中央区銀座3-9-11
紙パルプ会館5階

出品者 賛助出品 田中節山先生

市澤静山 萩田光山 恩田静月 久保妍山 小渕石峯 末永暁華
杉山暁雲 杉山窓影 鈴木春鳳 関香風 竹内青紗 竹内藍山
露崎玄峯 内藤望山 樋口玄山 藤森大節 宮本耕成 柳澤玄嶽
山口啓山 渡辺華雪（書象会関係）



◆第80回謙慎書道会展の申込をお忘れなく
郵便振替による標記申込の締切日が十二月八日(金)でした。申込をさ
れていない方は、大至急書象会本部までご連絡ください。
☆添削会などの日程は次の通りです。

添削会 十二月二十三日(祝)武蔵野公会堂(午前十時開始)
添削会 一月七日(日) 武蔵野スイングホール(午前十時開始)
最終選考会 二月四日(日) 武蔵野スイングホール(午前十時開始)

△席上揮毫▽ 三月十七日(土) 十一時 田中節山先生
△ギャラリートーク▽ 三月十八日(日) 十一時 杉山暁雲先生

◆秋季昇段級試験終了
平成二十八年秋季師範、準師範、特待生の各昇格試験の審査、一般・
学生の昇段級試験の審査が十一月二十六日(日)に終了いたしました。支
部長先生をはじめ 受付並びに返送作業に当られた事務局員、お手伝
いの皆様には感謝申し上げます。

◆第34回雅延会書展（丑歳生まれの書作家）

会期 一月四日(木)～七日(日)

会場 東京銀座画廊・美術館

出品者 小室墨汀 竹内墨洋（本会関係）

◆第27回謙慎書道会西部展

会期 十一月二十二日(水)～二十六日(日)

会場 德島県立文学書道館

出品者 石丸暁風 久保妍山 宮本耕成 鷹谷聰心 前田珠静

◆書象会事務局の年末年始
・年末は十二月二十八日(木)が仕事納めです。
・年始は一月五日(金)が仕事始めです。
・事務受付は午前九時から午後五時です。

☆第4回静心会書展
会期 十二月五日(火)～十日(日)
会場 銀座大黒屋ギャラリー六階
主宰 坂牛静心先生
主催 第22回謙慎書道会甲信北越展
会期 十二月八日(金)～十日(日)
会場 長野市生涯学習センター4F／長野市もんぜんぱら座B1

書象会便り

書象会総会・新年会のお知らせ

下記の通り開催いたします。
多数ご参加下さいよう御案内申し上げます。

記

日時 平成30年1月28日(日)

12時～14時30分

会場 京王プラザホテル5階

「コンコードボールルーム」

会費 15,000円

（なお新年会に先立ち11時より47階「あけぼの」
にて授号式が行われます。）

氏名

印 刷 所	代 表	發 行 人
株 式 会 社	上 (有)	條 約
リ ン ク ス 象	代 表 上 (有)	發 行 人
郵便番号	180-0001	東京都武蔵野市吉祥寺北町四-13-16
振替名義	○○一九〇一七一一五六九一	電話○四三(五三)九七四三